

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	I P C	要約	ステータス
2001-112196	分離型スノートを有する粒子線治療装置	公益財団法人 若狭湾エネルギー研究センター	A61N 5/10 G21K 5/00 G21K 5/04	<p>【課題】 従来のX線治療とは格段に厳しい精度が要求される粒子線治療において、遥かに精度の高いX線CT装置による位置合わせを可能とし、同時に照射位置を位置合わせのために占有する時間を低減することにより、X線治療装置よりは遥かに大型で高額の粒子線治療装置の稼動効率を大幅に改善し、併せて作業性と安全性を向上させた。</p> <p>【解決手段】 荷電粒子線によるがんの治療装置において、照射野形成装置を構成する患者コリメータ・ボラス部分(スノート)を、前記照射野形成装置の他の構成要素及びビーム輸送系から分離して独立に移動可能にする手段と、前記患者コリメータ・ボラス部分(スノート)の開口部と同一形状の、または開口部に光源と患者間の距離(SSD)の補正を加えた形状のテンプレートと、X線撮影装置により、照射位置以外において、がんに対して前記テンプレートの位置合わせを行う手段と、患者と前記テンプレートの相対位置を一定に保ちながら、患者を照射位置に移動させる手段と、前記テンプレートと前記患者コリメータ・ボラス部分を合致させる手段とを具備する事の特徴とする。</p>	
2004-007548 2004/01/15	生体内遺伝子発現検出用組成物	504145320 国立大学法人 福井大学	C12N 15/09 (20060101), C07K 14/72 (20060101), C12Q 1/02 (20060101), //C12N 5/10 (20060101)	<p>【課題】 近年、胚性幹細胞や組織幹細胞の発見とその培養細胞株の樹立、さらに特定細胞への分化誘導条件の相次ぐ開発に伴い、再生医療における胚性幹細胞を用いた細胞移植治療が現実のものとなりつつあり、遺伝子治療も実際の臨床治療の選択の一つとして確立されてきた感があるが、多くの場合取り出して調べる他に正確に把握する術を持たないのが現状であり、細胞移植治療における機能性細胞もしくはES細胞等の生死判別や、遺伝子治療における治療遺伝子の発現モニタリングなどの方法として、インビボ遺伝子発現検出システムの開発が切望されていた。【解決手段】 天然エストロゲンとの結合能を有しない変異型エストロゲン・レセプターをコードする遺伝子(Mer)をレポーター遺伝子として組み込んだプラスミドを有する形質転換細胞が発現して産生するMer蛋白と選択的に結合する合成ステロイド誘導体を含んでなるMer蛋白により非侵襲的に生体内遺伝子の発現検出が可能となった。【選択図】 なし</p>	権利継続中
2004-007549 2004/01/15	レポーター遺伝子を組み込んだベクター	504145320 国立大学法人 福井大学	C12N 15/09 (20060101), C07K 14/72 (20060101), //C12N 5/10 (20060101)	<p>【課題】 従来のルシフェラーゼやGFPなどのレポーター遺伝子を用いるシステムでは小動物や体表部での遺伝子発現のモニタリングは可能であるが、体深部での遺伝子発現のモニタリングは検出感度、定量性が不十分となるため難しく、安全性、定量性に優れて、人体にも適用可能な遺伝子発現のモニタリングシステムの開発が望まれていた。【解決手段】 レポーター遺伝子とそれを検出するPETトレーサーの組み合わせとして、野生型および変異型エストロゲンレセプターのリガンド結合領域をレポーターとして、エストロゲンレセプターリガンド結合領域と親和性を持つF-18で標識したエストロゲンやエストロゲンアゴニストまたはアンタゴニストをトレーサーとして、生体内での目的遺伝子の発現を体外より非侵襲的にモニタリングすることにより、上記課題を解決した。【選択図】 なし</p>	権利継続中
2004-381800 2004/12/28	アルツハイマー病の検査方法	504160781 国立大学法人 金沢大学, 504145320 国立大学法人 福井大学	G01N 33/68 (20060101), G01N 21/78 (20060101)	<p>【課題】 アルツハイマー病の簡便且つ正確な検査を可能とする。【解決手段】 アミロイドβ蛋白と被験者から採取した体液と緩衝液とを混合した反応溶液を反応させ、アミロイドβ蛋白の重合反応が平衡状態に到達した後、アミロイドβ蛋白の重合の程度を調べる。例えば、反応後の前記反応溶液と蛍光色素とを混合し、反応溶液の発色の程度を検出することにより、前記アミロイドβ蛋白の重合の程度を調べる。前記蛍光色素がチオフラビンT又はその誘導体である。前記体液が脳脊髄液、血液又は血液成分である。【選択図】 図2</p>	権利継続中
2005-095832 2005/03/29	サイトカイン産生ヒト細胞株	504145320 国立大学法人 福井大学	C12N 5/06 (20060101)	<p>【課題】 炎症性サイトカインと、この炎症性サイトカインと協調して作用するケモカインとを、自立的に産生する細胞株を提供する。【解決手段】 ヒト胸腺癌細胞から樹立したヒト細胞株であって、少なくとも炎症性サイトカインIL-6、ケモカインIL-8およびケモカインrantesを自立的に産生する。【選択図】 図2</p>	権利継続中

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	I P C	要約	ステータス
2005-219695 2005/07/28	腸管機能亢進剤とこれを用いた壊死性腸炎の治療または予防方法は予防方法	504145320 国立大学法人 福井大学	A61K 38/00 (20060101), A61K 9/107 (20060101), A61K 47/12 (20060101), A61P 1/04 (20060101)	【課題】腸管機能(腸管成熟)を亢進させ、壊死性腸炎、特に、未熟児における腸管の未熟性に起因する壊死性腸炎を効率良く防止して治療効果を発揮することができる、新しい腸管機能亢進剤を提供する。【解決手段】腸管成熟を亢進する機能を有する肺サーファクタントを有効成分として含有すること。【選択図】なし	権利継続中
2005-253370 2005/09/01	バエニバチルス属細菌由来のキチナーゼ及びそれをコードする遺伝子	504145320 国立大学法人 福井大学	C12N 15/09 (20060101), C12N 1/20 (20060101), C12P 19/14 (20060101), C12N 9/42 (20060101), C12N 1/15 (20060101), C12N 1/19 (20060101), C12N 1/21 (20060101), C07K 16/40 (20060101)	【課題】キチンオリゴ糖の効率的な製造を可能とする手段の提供。【解決手段】新規バエニバチルス属細菌またはその変異株、ならびにそれを含む、農薬、植物病原菌に対する抗菌剤あるいは多糖の分解剤;新規バエニバチルス属細菌またはその変異株を多糖または多糖含有物(例、越前ガニ等のズワイガニのカニ殻)に接触させることを含む、オリゴ糖の製造方法;特定のアミノ酸配列において分泌シグナル配列が除去されたアミノ酸配列と70%以上の配列同一性を有するアミノ酸配列からなり、かつキチン分解活性を有するポリペプチド、ならびにそれをコードするポリヌクレオチドなど。【選択図】なし	権利継続中
2005-254512 2005/09/02	NADase、SNIおよびSLO遺伝子を含むオペロンから発現するタンパク質の製造方法、それにより得られるタンパク質およびその使用	504145320 国立大学法人 福井大学	C12N 15/09 (20060101), C12N 9/14 (20060101), C12N 1/21 (20060101), C07K 14/315 (20060101), C12P 21/02 (20060101), C12Q 1/34 (20060101), C07K 16/12 (20060101), A61K 38/00 (20060101), A61K 48/00 (20060101), A61K 35/74 (20060101), A61P 31/04 (20060101),	【課題】NADase、SNIおよびSLO遺伝子を含むオペロンから発現するタンパク質の製造方法、それにより得られるタンパク質およびその使用の提供 【解決手段】SNI、その部分ペプチドまたはそれらの発現ベクターを含む、医薬(例、連鎖球菌感染症、自己免疫疾患、多発性骨髄腫等の疾患の治療薬)および試薬;連鎖球菌由来NADaseおよびSNIの共発現ベクター、それを含む形質転換体、当該形質転換体を利用する連鎖球菌由来NADaseの製造方法、当該製造方法により得られるタンパク質;SNIおよびNADaseを含む複合体:NADaseおよびSNI遺伝子を併有する連鎖球菌による感染症の治療薬のスクリーニング方法:完全長SLOまたは大腸菌に毒性を示し得るその部分ペプチドの発現ベクター、それを含む大腸菌、当該大腸菌を用いる当該SLOまたは領域の製造方法:SLOに特異的な抗体など。【選択図】なし	権利継続中

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	IPC	要約	ステータス
2006-353526 2006/12/27	歩行補助用杖及びその作製方法	504145320 国立大学法人 福井大学	A61H 3/00 (20060101), A45B 9/02 (20060101)	【課題】本発明は、安定して体重を支えることができるとともに力が入った効果的な握りを行うことが可能な歩行補助用杖及びその作製方法を提供することを目的とするものである。【解決手段】歩行補助用杖1の握り部11は、前方に形成された滑り止め用の膨丘部R1と、中間に形成された第二指把持部R2と、後方に形成された後方把持部R3とを備え、第二指把持部R2は、第二指の手掌側が圧接しその手背側の先端部が第一指により押圧された握り状態を許容する外周に形成されており、膨丘部R1は、第二指把持部R2の外周よりも大きくなるように上方に膨出して形成されており、後方把持部R3は、第二指把持部R2の両側から連続して幅広に形成されて少なくとも手掌の手根部分に当接可能な広さに形成されている。【選択図】図3	権利継続中
2006-355264 2006/12/28	組織再生用組成物及びそれを用いたスキャフォールド	504145320 国立大学法人 福井大学	A61L 27/00 (20060101), A61L 15/16 (20060101)	【課題】生体適合性に優れ、安全にかつ早期に組織再生が可能な組織再生用組成物を提供すること。【解決手段】本発明の組織再生用組成物は、キトサン及びセリシンを含有することを特徴とする。これにより、良好な生体適合性を有し、細胞増殖性及び細胞分化能に優れることから、安全にかつ早期に組織再生を行うことが可能になる。したがって、皮膚、血管、神経、骨、軟骨、食道、弁、その他臓器等の再生のために直接使用することが可能であり、例えば、組織培養におけるスキャフォールドとして使用することができる。【選択図】なし	権利継続中
2006-355381 2006/12/28	キトサン/セリシン複合体ナノファイバー及びその人工皮膚への利用	504145320 国立大学法人 福井大学	D01F 9/00 (20060101), A61L 15/64 (20060101), A61L 27/00 (20060101), D01F 4/00 (20060101), D04H 1/42 (20060101), D04H 1/72	【課題】優れた人口皮膚の提供【解決手段】キトサンとセリシンの複合体を含む平均直径が50～500nmの繊維を、電界紡糸法によって調製する。その繊維マットは、人口皮膚、創傷被覆材などとして、また、皮膚、毛管、軟骨、骨などの各種臓器再生のための足場などの医療用材料として有用である。【選択図】なし	権利継続中
2007-069284 2007/03/16	培地添加因子	504145320 国立大学法人 福井大学	C12N 5/071 (20100101)	【課題】動物細胞培養に有用な培地添加因子の提供【解決手段】フルクタンを有効成分として含有する、培地添加因子；該培地添加因子を含む、培養用培地；動物細胞を該培地添加因子を含む培養用培地で培養することを特徴とする、動物細胞の培養方法。フルクタンとしては、特にラッキョウ、ニンニク、タマネギなどの植物の根または根茎由来のフルクタンが好適に用いられ得る。【選択図】なし	権利継続中
2007-201235	冬虫夏草の突然変異体及びその変異体の培養法	公益財団法人 若狭湾エネルギー研究センター、国立大学法人福井大学	C12N 1/14 C12P 1/02 C12P 19/38 A61P 31/04 A61P 35/00 A61K 36/06 A61K 35/64 A61K 31/7076 C07H 19/167	【課題】冬虫夏草の変異株の製造方法、及びそれを利用してコルジセピンを高生産する方法の提供。 【解決手段】冬虫夏草の菌糸体に高エネルギーのイオンビームを照射し、当該照射処理を行った菌糸体の中から親株と菌学的性質、特に生理活性物質の生産能の異なる変異株を選抜する。さらにその中から、有効成分コルジセピンを高効率で生産する変異株を選抜し、得られた高生産株を、最適条件下で培養することで、コルジセピンの高生産を可能とする方法。	

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	IPC	要約	ステータス
2007-201235 2007/08/01	冬虫夏草の突然変異体及びその変異体の培養法	504145320 国立大学法人 福井大学, 397022885 公益財団法人 若狭湾エネ ルギー研究 センター	C12N 1/14 (20060101), C12P 1/02 (20060101), C12P 19/38 (20060101), //A61P 31/04 (20060101), A61P 35/00 (20060101), A01N 65/00 (20090101)	【課題】冬虫夏草の変異株の製造方法、及びそれを利用してコルジセピンを高生産する方法の提供。【解決手段】冬虫夏草の菌糸体が高エネルギーのイオンビームを照射し、当該照射処理を行った菌糸体の中から親株と菌学的性質、特に生理活性物質の生産能の異なる変異株を選抜する。さらにその中から、有効成分コルジセピンを高効率で生産する変異株を選抜し、得られた高生産株を、最適条件下で培養することで、コルジセピンの高生産を可能とする方法。【選択図】なし	権利継続中
2008-053768 2008/03/04	アレルギー疾患の治療薬且つ治療効果のマーカ	504145320 国立大学法人 福井大学, 504171134 国立大学法人 筑波大学	G01N 33/53 (20060101), A61K 38/00 (20060101), A61P 37/08 (20060101), A61P 27/14 (20060101), A61P 17/04 (20060101), A61P 11/06 (20060101), A61P 11/02 (20060101), A61P 1/00 (20060101), A61P 43/00 (20060101)	【課題】アレルギー疾患の治療効果判定及び/又は予測のための確実かつ容易な臨床マーカー、並びに特にアレルギー疾患の治療のための、根治性のある治療薬の提供。【解決手段】アポリポタンパク質A-IVを認識する抗体を用いるアレルギー疾患の治療効果判定及び/又は予測のための臨床マーカー、当該マーカーを用いるアレルギー疾患の診断方法、及びアポリポタンパク質A-IVを含有してなるアレルギー疾患の治療薬。【選択図】なし	権利継続中
2008-081823 2008/03/26	歩行補助用杖	504145320 国立大学法人 福井大学	A61H 3/02 (20060101)	【課題】本発明は、複数の支持脚部を有する場合でも自然な歩行動作で使用することができる歩行補助用杖を提供することを目的とするものである。【解決手段】歩行補助用杖1は、棒状の杖本体部10、杖本体部10の上端部に湾曲して形成された取付部10aに固定された握り部20及び杖本体部10の下端部に固定された支持部30を備えている。支持部30は、4本の支持脚部31a~31dからなり、各支持脚部は杖本体部10の下端部から軸方向と直交する方向に放射状に延びて下方に垂設されている。各支持脚部は、ガイド部内にロッド部材が挿着されてその長さが伸縮可能となっており、圧縮バネにより加重に応じて伸縮の程度が調整されるようになっている。そのため杖本体部10が傾いた場合でも支持脚部が接地した状態に維持される。【選択図】図1	権利継続中
2008-184830 2008/07/16	口笛の吹音・吸音判定装置及び口笛音楽検定装置	504145320 国立大学法人 福井大学	G10L 25/51 (20130101), G10K 15/04 (20060101)	【課題】吹くことで口笛が発生するか、及び吸うことで口笛が発生するかを判定する為の装置の提供。【解決手段】マイクロフォン2に入力した口笛音の50~200HZの帯域における対数パワースペクトルの平均値PLがある値PSを超えた場合は吹音とし、PLがPS以下の場合には吸音とする判定部を有し、この判定に基づいて表示する表示部を備えている。【選択図】図1	権利継続中
2008-263901 2008/10/10	口笛音カウント装置	504145320 国立大学法人 福井大学	G10L 11/00 (20060101)	【課題】所定の時間内に吹き鳴らす口笛の回数を検出する為のカウント装置の提供。【解決手段】音声信号を電気信号に変換するマイクロフォンと該電気信号を増幅するマイクアンプ、ボリュームにて中心周波数を450~3500HZの範囲内で変化させられるバンドパスフィルターを有し、そして、信号強度が閾値を超えた場合には口笛音として判定することで点灯するランプを取付け、ランプの点灯回数を表示する表示部を設けている。【選択図】図1	権利継続中

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	IPC	要約	ステータス
2009-054487 2009/03/09	乳幼児の感情診断装置及び方法	504145320 国立大学法人 福井大学	G10L 25/63 (20130101), G10L 15/10 (20060101)	【課題】本発明は、乳幼児の感情と母親の感情との間の相互作用を分析して感情診断を行う乳幼児の感情診断装置及び方法を提供することを目的とするものである。【解決手段】乳児Bの音声を入力する気導マイク1及び母親Mの音声を入力する骨導マイク2から音声取得部10を介して音声データを音響処理部12に送信して音声データのピッチ周期が算出される。本体部20では、乳児B及び母親Mの感情評価データとしてピッチ周期のゆらぎ成分を算出して評価を行う感情評価部21、算出された乳児B及び母親Mの感情評価データに基づいて乳児Bの感情の原因分析及び推論を行う感情診断部22、及び、乳児Bの感情診断結果に基づいて母親に対する育児支援を行う育児支援部23を備えている。【選択図】図1	権利継続中
2009-074306 2009/03/25	発声訓練支援装置及びそのプログラム	504145320 国立大学法人 福井大学	G09B 21/00 (20060101), G10L 15/00 (20130101)	【課題】専門の訓練士の補助として訓練生に息を吹く力とタイミングの訓練を行うことのできる発声訓練支援装置を提供する。【解決手段】発声機能障害を有する訓練生が発声訓練を行うに際し、息の吹き出し強さとタイミングの訓練の支援を行う発声訓練支援装置であって、予め作成された息の吹き出し強さ及びタイミングのモデルを記憶するモデル記憶手段17と、このモデル記憶手段17から読み出した所定のモデルを表示し、訓練生に訓練の開始を促す表示手段15と、表示されたモデルに従って訓練生が吹き出した息を検出し、吹き出された息の強さとタイミングを計測する検出手段12、13、14と、表示された前記モデルと前記検出手段によって検出された息の吹き出し強さ及びタイミングとを比較し、比較結果から訓練の達成度を評価する比較・評価手段19とを有する。【選択図】図1	権利継続中
2009-520532 2008/06/19	同位体化合物を標識として使用するタンパク質の分析方法	504145320 国立大学法人 福井大学	G01N 27/62 (20060101)	本発明は、式(1)：(式中、R1、R2及びR3はそれぞれ同一又は異なって、水素、ハロゲン又はアルキルを示す)で表される化合物又はその塩の2種以上の安定同位体の組み合わせを標識化合物として用いてそれぞれの試料に含まれる同種のタンパク質に質量差を与えることを含む、タンパク質分析方法を提供する。	権利継続中
2009-98098	生体電気信号測定用センサ及びその製造方法	独立行政法人 国立高等専門学校機構, 国立大学法人福井大学	A61B 5/0408	【課題】脳波測定と並行してX線CTやMRIによる撮像を行っても、アーチファクトが写りこまない鮮明な画像を得ることができ、かつ、安価で使い捨てが可能で、更に、被験者への肉体的負担が少ない生体電気信号測定用センサを提供する。 【解決手段】生体から発した電気信号を検出する電極素子を備えているセンサであって、前記電極素子が、カーボンナノチューブがマトリックス樹脂中に分散されてなる樹脂組成物からなるようにした。 【選択図】図1	権利継続中
2010-029438 2010/02/12	酵素安定化剤	504145320 国立大学法人 福井大学, 592029256 福井県	C12N 9/96 (20060101)	【課題】酵素の失活、活性低下を防止し、安全で優れた酵素安定化剤を提供すること。【解決手段】フルクタンを有効成分として含有する、酵素安定化剤。フルクタンは、好ましくは、ラッキョウ、ニンニク、タマネギ等のネギ属植物由来である。酵素とフルクタンを共存させることにより、酵素を安定化することができる。【選択図】なし	権利継続中
2010-079150 2010/03/30	放射線障害防護剤	504145320 国立大学法人 福井大学	A61K 33/26 (20060101), A61P 7/00 (20060101)	【課題】放射線被ばくや放射線療法に伴う障害を予防または治療し、生存率を上げる医薬を提供することである。【解決手段】ニトロブルシドまたはその薬理的に許容される塩を含有する、放射線障害防護剤。【選択図】なし	権利継続中

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	IPC	要約	ステータス
2010-272436 2010/12/07	生体由来分子その他の含水性有機高分子を含む試料の変化評価方法及びこの方法に用いられるマイクロ波空洞共振器	504145320 国立大学法人 福井大学	G01N 22/02 (20060101), G01N 22/00 (20060101)	【課題】含水性試料の構造の変化を、前処理や試薬を必要としない簡単な方法で短時間かつ正確に行うことができる変化評価方法を提供すること。【解決手段】生体由来分子その他の含水性有機高分子を含む試料にマイクロ波を照射し、このマイクロ波を吸収した前記試料のマイクロ波誘電吸収挙動を検出することで、前記試料の構造の変化を評価する変化評価方法であって、Lバンド～Sバンド周波数帯のマイクロ波を発生させるマイクロ波発生源を準備し、このマイクロ波発生源から照射されたマイクロ波により発生する電場の中心に前記試料を配置し、前記試料がマイクロ波を吸収することによるマイクロ波誘電吸収挙動を検出する方法とした。【選択図】図2	権利継続中
2010-85680	植物工場照明装置	公益財団法人 若狭湾エネルギー研究センター	F21V 33/00 F21S 11/00 F21V 8/00 F21V 23/00 A01G 7/00 F21Y 101/02 F21Y 103/00	【課題】人工光照明システムと自然エネルギーを利用した太陽光照明システムとの併用により省エネルギー化を図ることができる植物工場照明装置を提供すること。【解決手段】植物工場Fの外側に配置され、太陽光の集光器11を備えた太陽光採光部1と；同じく前記植物工場Fの外側に配置され、人工光源21を備えた人工光採光部2と；石英系光ファイバが使用され、かつ、前記太陽光採光部1および人工光採光部2に配置された入射端部31で受光した光を配線先である植物工場Fの栽培室C内に導入可能な光伝送ライン3と；前記植物工場Fの栽培室C内の植物近傍に設けられ、前記光伝送ライン3の出射端部32が配置されて伝送された光を植物Pに照射可能な室内照明部4とを含んで構成した。	
2011-048342 2011/03/04	二本鎖核酸の製造方法	504145320 国立大学法人 福井大学	C12N 15/09 (20060101)	【課題】染色体上の標的部位又は標的領域に目的とする配列のみが挿入された形質転換体を簡便に作製するための手段を提供すること。【解決手段】本発明は、相同的組換えによって、染色体上の標的部位又は標的領域に、第一の目的ヌクレオチド配列、選択マーカー及び第二の目的ヌクレオチド配列を挿入する活性を有する二本鎖核酸の製造方法であって、選択マーカー及び目的のヌクレオチド配列を含む1つの環状DNAを鋳型として、2種類のプライマーを用いてセンス鎖及びアンチセンス鎖を別々に合成すること、それらを混合し、二本鎖核酸を増幅することを含む、二本鎖核酸の製造方法、当該方法に用いるキット、並びに当該方法により二本鎖核酸を製造することを含む形質転換体の製造方法を提供する。【選択図】なし	権利継続中
2011-073353 2011/03/29	アポトーシス誘導剤	504145320 国立大学法人 福井大学	A61K 31/7072 (20060101), A61K 51/00 (20060101), A61P 35/00 (20060101), //C07H	【課題】内照射治療によって細胞増殖性の疾患を治療するために有用な、アポトーシスを誘発する放射性薬剤を提供すること。【解決手段】式(1)(式中、R1は水素又はC1-6アルキル基を示し、R2およびR3は、それぞれ独立して水素、ヒドロキシルまたはハロゲン置換基を示す)で表されるアポトーシス誘導剤。【選択図】なし	権利継続中
2011-14617	組み立て椅子	独立行政法人 国立高等専門学校機構	A47C 4/02	【課題】本発明は、容易に組立て及び分解が可能で十分な強度を備える組み立て椅子を提供することを目的とする。【解決手段】外側係合部1a及び内側係合部1bが形成された座板1と、中心線に沿って形成された嵌合溝2c及び3cに互いに嵌め込まれて直交するように組み合わされ上部の両側に外側係合部1aに挿着される一対の突起部2a及び3aが形成された一対の支持板2及び3と、中心線に沿って形成された嵌合溝4c及び5cに互いに嵌め込まれて直交するように組み合わされるとともに上部の中心部分に内側係合部1bに挿着される一対の突起部4a及び5aが形成された一対の脚板4及び5とを備え、支持板及び脚板は、それぞれ互いに組付け溝2b～5bで嵌め込まれて45度ずれた角度位置で交差するように組付けられている。【選択図】図5	

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	I P C	要約	ステータス
2011-262995 2011/11/30	コルジセピンの製造および精製方法	504145320 国立大学法人 福井大学	C12P 19/40 (20060101), C12P 1/02 (20060101), C12N 1/14 (20060101)	【課題】高純度のコルジセピンを簡便にかつ効率よく製造する方法を提供する。また、コルジセピンを簡便にかつ高回収率で分離精製する方法を提供する。【解決手段】ろ過滅菌した培養液を用いて冬虫夏草を培養することにより、培養液中に高濃度でコルジセピンを産生させる。また、得られた培養液から分離した培養上清より、温度変化やpH変化による晶析により、コルジセピンを高純度かつ高回収率で分離精製する。【選択図】なし	権利継続中
2012-224580	CO ₂ ガス濃縮装置、及びCO ₂ ガス濃縮方法	公益財団法人 若狭湾エネルギー 研究センター	A01G 7/02 B01D 53/047	【課題】外気中のCO ₂ ガスを濃縮して植物工場や園芸用温室等に効率良く供給することができ、しかも、装置コストを安価に抑えられる上に、電気代やメンテナンスにかかるランニングコストも低減できるCO ₂ 濃縮装置、及びこの装置を利用したCO ₂ ガス濃縮方法を提供すること。 【解決手段】CO ₂ ガス濃縮用の第一圧力容器1と；この第一圧力容器1に接続された空気貯蔵用の第二圧力容器2と；前記第一圧力容器1と植物栽培室Rの間に配置され、更に駆動源として電動モーターMが内蔵されて、外気を吸気部31から第一圧力容器1及び第二圧力容器2に圧送可能である一方、各圧力容器1・2内に貯蔵された圧縮ガスを植物栽培室Rまたは排気部32に移送する際には、電動モーターMが発電機Gとして作動するエネルギー回生式のエアコンプレッサ3とからCO ₂ 濃縮装置を構成した。	
2012-280082 2012/12/21	ATG7変異体を用いたオートファジーの抑制方法	504145320 国立大学法人 福井大学	A61K 38/00 (20060101), A61K 31/7088 (20060101), A61K 48/00 (20060101), A61P 31/04 (20060101), //C12N 15/09 (20060101), C12N 5/10 (20060101)	【課題】ATG7を標的として特異的かつ効率的にオートファジーを抑制するための手段を提供すること。【解決手段】本発明は、ATG7ポリペプチドのドミナントネガティブ変異体又は当該変異体をコードするヌクレオチド配列を有する核酸を含有してなる、オートファジー抑制剤、及びATG7ポリペプチドのドミナントネガティブ変異体又は当該変異体をコードするヌクレオチド配列を有する核酸を単離された細胞内に導入することにより、当該細胞内の野生型ATG7ポリペプチドの活性を阻害することを含む、オートファジーの抑制方法などを提供する。 【選択図】なし	権利継続中
2012-289219	植物育成のための光制御装置、光制御方法、光制御プログラム及び光制御のためのデータ収集装置	福井大学、益 財団法人若狭 湾エネルギー 研究センター	A01G 7/00 601C A01G 7/00 601B A01G 7/00 603	【課題】自然光のように変化する外部光との併用が可能で、植物の育成条件に適した光形態形成が可能な光制御装置を提供する。 【解決手段】植物に光を照射することで植物の成長を促進させる植物育成のための光制御装置1において、植物に照射される光の分光放射強度を検出する光検出部11と、植物に応じて予め準備された光制御モデルを記憶し、光検出部によって検出された分光放射強度と光制御モデルの算出結果とから不足分の分光放射強度を求める制御部13と、この制御部13からの指令信号に基づいて、不足分の分光放射強度を補光する補光部12とを有し、補光部12によって補光された光の分光放射強度を光検出部11で検出し、検出された結果を制御部13にフィードバックするように構成した。	権利継続中

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	I P C	要約	ステータス
2012-538731 2011/10/14	刺激信号生成装置	504133110 国立大学法人 電気通信大学, 504137912 国立大学法人 東京大学, 504145320 国立大学法人 福井大学	A61N 1/36 (20060101)	人体の脳の賦活に関するデータを取得する脳賦活データ取得部103と、予め定められた刺激パラメータ、又は脳賦活データ取得部103が取得したデータから求められた刺激パラメータに基づいて、人体の関節を動作させるために賦活する脳の特定部位と対応する神経に当該特定部位を賦活させるために与える刺激信号を生成する生成部101と、前記生成部で生成された刺激信号を出力する出力部102とを備える。	権利継続中
2013-060747 2013/03/22	造血又は腸管放射線障害防護剤	504145320 国立大学法人 福井大学	A61K 33/26 (20060101), A61P 1/00 (20060101), A61P 43/00 (20060101), A61P 39/00 (20060101)	【課題】ニトロプルシドが放射線障害を防護する作用機序を解明し、その作用機序に基づき、ニトロプルシドの新たな用途を提供すること。【解決手段】ニトロプルシドまたはその薬理学的に許容される塩を含有する、放射線誘発小腸幹細胞アポトーシス抑制剤。ニトロプルシドまたはその薬理学的に許容される塩を含有する、放射線により減少した造血幹細胞数及び/又は造血前駆細胞数の回復を促進するための剤。【選択図】なし	権利継続中
2013-108792 2013/05/23	プローブ修飾ナノ粒子を用いた有害微生物の高感度バイオセンシングシステム	504145320 国立大学法人 福井大学	C12Q 1/68 (20060101), C12N 15/09 (20060101), C12Q 1/04 (20060101), C12Q 1/32 (20060101), G01N 33/53 (20060101), G01N 33/569 (20060101), G01N 33/483 (20060101), G01N 27/00 (20060101)	【課題】従来法に比して迅速かつ簡便な有害微生物の高感度バイオセンシング技術を提供すること。【解決手段】第1のプローブが表面に担持されておりかつ磁性を有する第1の粒子と、第2のプローブおよび電気化学的活性物質が表面に担持されている金属ナノ粒子からなる第2の粒子とを使用し、標的微生物のDNAを該2つのプローブとハイブリダイズさせて、該DNAを介して第1の粒子および第2の粒子が連結された複合体を形成させる。複合体を磁氣的相互作用を利用して回収し、回収した複合体を電気化学測定に供して電気化学的活性物質を検出する。【選択図】なし	権利継続中
2013-264454 2013/12/20	愛着障害治療剤	504145320 国立大学法人 福井大学	A61K 38/11 (20060101), A61P 25/14 (20060101), A61K 9/08 (20060101), A61K 9/12 (20060101)	【課題】本発明は、愛着障害に適用できる、長期投与をしても安全で、服用が簡便な治療剤を提供する。【解決手段】オキシトシンを有効成分として含有する愛着障害治療剤。【選択図】図2	出願審査中

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	I P C	要約	ステータス
2013-264455 2013/12/20	愛着障害の判定方法	504145320 国立大学法人 福井大学	A61B 5/055 (20060101)	【課題】本発明は、愛着障害を非侵襲的に判定する方法を提供する。【解決手段】被験者に報酬系の刺激を行い、機能的磁気共鳴画像法による被験者の脳画像を解析し、脳内部位の賦活度の変化から愛着障害を判定する方法。【選択図】図1	出願審査中
2013-273139 2013/12/27	抗PROK1抗体による大腸癌の治療	504145320 国立大学法人 福井大学	A61K 39/395 (20060101), A61P 35/00 (20060101), G01N 33/50 (20060101), G01N 33/15 (20060101)	【課題】切除不能な進行再発大腸癌の新規治療手段を提供する。【解決手段】抗PROK1抗体を含有する大腸癌の治療剤。被験物質の存在下及び非存在下、PROK1発現細胞でのPROK1の発現量を測定し、被験物質非存在下での対照細胞と比較して、PROK1の発現を抑制した物質を選択することを含み、抗癌作用を有する物質のスクリーニング方法。【選択図】なし	出願審査中
2013-273140 2013/12/27	抗PROK1抗体及び抗VEGF抗体併用による大腸癌の治療	504145320 国立大学法人 福井大学	A61K 39/395 (20060101), A61P 35/00 (20060101), A61K 31/4745 (20060101), A61K 31/513 (20060101), A61K 31/282 (20060101), A61P 43/00 (20060101)	【課題】切除不能な進行再発大腸癌の新規治療手段を提供する。【解決手段】抗PROK1抗体と抗VEGF抗体とを組み合わせる、大腸癌の治療剤。イリノテカン、セツキシマブ、5-フルオロウラシル、オキサリプラチン及びパニツムマブから選択される少なくとも1種の抗癌剤を、さらに組み合わせる、該治療剤。【選択図】なし	出願審査中
2014-022373 2014/02/07	循環動態監視装置	504145320 国立大学法人 福井大学	A61B 5/0205 (20060101), A61B 5/025 (20060101), A61B 5/026 (20060101)	【課題】循環動態の指標となる左心室-大動脈カップリングEes/Eaを、非侵襲的かつ従来技術よりも簡便かつ正確に算出することができる循環動態監視装置を提供する。【解決手段】当該装置が有する左心室-大動脈カップリング算出手段により、該手段において予め設定された関係に基づいて、前駆出期間と、駆出期間と、動脈拡張期血圧と、平均血圧とから、左心室-大動脈カップリングを算出する。【選択図】図2	出願審査中
2014-087177 2014/04/21	中性子線障害防護剤	504145320 国立大学法人 福井大学	A61K 33/26 (20060101), A61P 7/00 (20060101), A61P 39/00 (20060101)	【課題】放射線の中でも特に透過性が高く、障害の程度が大きい中性子線による障害から防護する手段を提供すること。【解決手段】ニトロプルシドまたはその薬理的に許容される塩を含有する、中性子線障害防護剤を提供することで上記課題を解決する。【選択図】なし	出願審査中

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	IPC	要約	ステータス
2014-117111 2014/06/05	心拍状態解析装置	504145320 国立大学法人 福井大学	A61B 5/0245 (20060101)	【課題】本発明は、音声信号波形をリアルタイムで処理する技術を用いて胎児の心音信号に基づいて心拍状態をリアルタイムで解析することができる心拍状態解析装置を提供することを目的とする。【解決手段】人体に取り付けられた接触検知センサ13及び14において体内に向かって送信された超音波信号を反射させて検知された心拍状態に関する検知信号を取得する検知処理部100と、取得された検知信号の振幅データに基づいて処理して検知信号の周期をリアルタイムで求める心音処理部101と、求められた検知信号の周期を高速フーリエ変換により処理してリアルタイムで周波数解析する心音解析部102とを備えている。【選択図】図1	出願審査中
2014-149007 2014/07/22	子宮肉腫転移モデル動物	504145320 国立大学法人 福井大学	A01K 67/027 (20060101), C12N 5/09 (20100101), C12Q 1/68 (20060101), C12Q 1/04 (20060101), C12N 5/10 (20060101), G01N 33/15 (20060101), G01N 33/50 (20060101), G01N 37/00 (20060101), G01T 1/161 (20060101)	【課題】本発明は、子宮の原発巣と転移巣を同時に有している子宮肉腫転移モデル動物を短期間で簡便に作製できる方法を提供する。本発明はまた、該方法により得られるモデル動物、薬剤のスクリーニングおよび療法の有効性の評価のための該モデル動物の用途、子宮肉腫由来の高転移株の樹立方法、上記作製方法のために有用な単離された細胞、なども提供する。【解決手段】(a)子宮肉腫に由来する転移性かつ造腫瘍性の細胞をレシピエントの免疫不全非ヒト哺乳動物に移植する工程、(b)該レシピエント動物において腫瘍を形成させ、該形成された腫瘍を切除して腫瘍片を得る工程、(c)該モデル動物となるべき免疫不全非ヒト哺乳動物の子宮筋層に該腫瘍片を移植する工程を含み、該移植された腫瘍片が、該動物において子宮筋層中の原発腫瘍巣および標的臓器中の転移巣を形成する、前記方法、など。【選択図】なし	出願審査中
2014-247849 2014/12/08	導電性炭素材料への分子識別機能を有する生体分子の固定化方法	504145320 国立大学法人 福井大学	C12N 11/02 (20060101), C12N 11/14 (20060101), H01M 4/90 (20060101), C07K 17/14 (20060101), G01N 27/327 (20060101), //G01N 33/551 (20060101), C12M 1/40 (20060101), H01M 8/16 (20060101), H01M 4/96 (20060101)	【課題】本発明は、導電性炭素材料に対して分子識別機能を有する生体分子を所定の配向性を有するように固定して高性能の複合素子を得ることができる生体分子の固定化方法を提供することを目的とする。【解決手段】本発明では、導電性炭素材料の表面にピレン誘導体を付着させて導電性炭素材料が分散した分散液を調製し、分散液中において導電性炭素材料に付着したピレン誘導体に対して配位子を結合させて配位に金属イオンを担持する金属錯体を生成し、ヒスチジン残基が付加された生体分子を分散液中に投入してヒスチジン残基を金属イオンと結合させて導電性炭素材料の表面において生体分子を所定の配向性を有するように固定化する。【選択図】図1	出願審査中

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	IPC	要約	ステータス
2015-017613 2015/01/30	妊娠期母体腸内細菌攪乱による行動異常モデル動物の作製方法とその用途	504145320 国立大学法人 福井大学	A01K 67/027 (20060101), G01N 33/15 (20060101), G01N 33/50 (20060101)	【課題】 妊娠期の異常な母体環境に起因する仔動物の神経発達障害または精神疾患を予防または治療する技術の開発に寄与する行動異常モデル動物とその作製方法、ならびにそれらの用途を提供する。【解決手段】 (a) 妊娠した非ヒト哺乳動物を提供する工程、(b) 妊娠期間中の該動物に抗菌薬を投与する工程、および、(c) 新生仔を出産させる工程を含む、行動異常モデル動物の作製方法。【選択図】 なし	出願審査中
2015-063094 2015/03/25	座位又は仰臥位で使用する運動器具	504145320 国立大学法人 福井大学	A63B 23/035 (20060101)	【課題】 椅子に腰を掛けた座位状態で、一方の脚部の運動を他方の脚部に連動させて伝達でき、更に腹部や背中にも連動させて伝達でき、全身運動乃至これに近い運動を効果的に行い得る運動器具を提供する。【解決手段】 使用者の腰回りに巻き付けられ左右側に第1の連結部21が設けられた非伸縮性のベルト部材3と、使用者の左右の脚部に対応する非伸縮性の脚コード部材7、8と、左右の脚コード部材の左右のコード53、53間の間隔を規制する規制連動部材9とを具える。脚コード部材7、8は、コード53の下端に足側装着部59を有し、コード53の上端に、第1の連結部21に連結される第2の連結部56を有する。間隔規制部材9は、左右のコード53、53の双方をその長さ方向でスライドさせるスライドガイド部79、79を有する。【選択図】 図1	出願審査中
2015-063095 2015/03/25	座位又は仰臥位で使用する運動器具	504145320 国立大学法人 福井大学	A63B 23/00 (20060101), A63B 23/08 (20060101)	【課題】 膝痛を緩和し得る座位又は仰臥位で使用する運動器具を提供する。【解決手段】 椅子11の座面13に載置されて使用者の臀部に敷かれる基板17の前縁側の、左右の大腿部22、22間に位置する支持部10で膝受け部材7の長さ方向の中央部9が支持されている。膝受け部材7は、使用者の左右の膝裏部5、5を下方から受ける左右の膝受け部6、6を左右側に具えている。膝受け部材7は、支持部10を支点部として、左右の膝受け部6、6が交互に上下する上下スイング動を行うことができる。又該膝受け部材7は、該支持部10を支点部として、前後動する前後スイング動を行い得る。膝受け部材7の長さ方向中央部にハンドル25が突設されている。【選択図】 図8	出願審査中
2015-099500 2015/05/14	自閉スペクトラム症への治療効果予測のための検査方法	504145320 国立大学法人 福井大学	C12N 15/09 (20060101), C12Q 1/68 (20060101)	【課題】 自閉スペクトラム症に対する薬剤の治療効果を生治療開始前に予測する方法を提供する。【解決手段】 被験者のrs2268490のアリルプロファイルを確認することによる。具体的には、1) 被験者から取得した検体から核酸を抽出する工程；及び2) 抽出した核酸について、rs2268490のアリルプロファイルを確認する工程による。rs2268490のアリルプロファイルにシトシン(C)を含まないことで、自閉スペクトラム症における薬剤投与、具体的にはオキシトシン(OXT)投与による治療効果を予測することができ、治療開始前に有効で安全な治療方針を提供することができる。【選択図】 図3	出願審査中
2015-132440 2015/07/01	自閉スペクトラム症診断補助のための医療用画像処理方法及び医療用画像処理システム並びにバイオマーカー	504145320 国立大学法人 福井大学	A61B 5/055 (20060101)	【課題】 短時間かつ客観的に自閉スペクトラム症(ASD)の診断補助のための医療用画像処理方法及び画像処理システムを提供するし、更には自閉スペクトラム症の診断補助のためのバイオマーカーを提供する。【解決手段】 脳内の複数箇所の関心領域(ROI)について、少なくとも4箇所以上の領域における脳活動を示す信号を定型発達者の信号と比較することで、客観的かつ簡便に自閉スペクトラム症を判別可能となる。被験者より得られるROI1(右紡錘状回)、ROI2(左舌状回)、ROI3(右舌状回)、ROI4(中部帯状回)、ROI5(右舌状回)、ROI6(左前頭回)、ROI7(左後部帯状回)から選択される少なくとも4箇所に含まれる関心領域(ROI)から取得される信号(A)と、定型発達者について前記と同じ各ROIについて予め取得された脳活動を示す信号(B)を比較分析することによる。【選択図】 図4	出願審査中

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	I P C	要約	ステータス
2015-152893 2015/07/31	子宮肉腫検出用血液マーカー、子宮肉腫検出用キット、および、子宮肉腫診断のためのデータの取得方法	504145320 国立大学法人 福井大学	G01N 33/68 (20060101), G01N 33/574 (20060101), C07K 14/47 (20060101)	【課題】子宮肉腫検出用マーカー、子宮肉腫検出用キット、および、子宮肉腫診断のためのデータの取得方法を提供する。【解決手段】オステオポンチン蛋白質、プログランニューリン蛋白質、および、ミッドカイン蛋白質からなる群より選択される少なくとも1つの蛋白質を含んでいる子宮肉腫検出用マーカーを用いる。【選択図】なし	出願審査中

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	IPC	要約	ステータス
2003-099479 2003/04/02	分子模型作製方法、及び分子模型	504145320 国立大学法人 福井大学	G09B 23/26 (20060101)	【課題】種々の結合様式に対応させた分子模型を安価に提供する。 【解決手段】中心部と複数の枝状部とを有し、前記複数の枝状部は、隣接する枝状部間が所定の角度で前記中心部から延在してなり、前記中心部の中心から $2\pi r(\theta/360)$ の位置に分子鎖固定位置を有する樹枝状部材を、半径 r の球状部材の外周に沿って延在させ、前記球状部材の、前記中心及び前記分子鎖固定位置に相当する位置に針状部材を固定し、結合角度 θ の分子鎖を有する分子模型を作製する。 【選択図】図3	ステータス 権利継続中
2006-331847 2006/12/08	分子模型制作方法及び化学反応学習教材	504145320 国立大学法人 福井大学	G09B 23/26 (20060101)	【課題】分子構造の模型を迅速にしかも繰り返し制作する方法の提供。【解決手段】教材としては基台1と球体2、3を使用し、基台1には原子穴(例えば酸素原子穴4、水素原子穴5、5)を貫通して設け、この原子穴より僅かに大きくて原子を表す原子球体(例えば酸素原子球体2、水素原子球体3、3)を嵌め、互いに結び付く原子同士は球体表面が接するように又は近接するように配置する。【選択図】図1	権利継続中
2007-30921	発光装飾器具	公益財団法人 若狭湾エネルギー研究センター	B44C 5/00 B44C 5/08	【課題】光の輝きと泡の挙動による幻想的な視覚効果をより一層高めることができ、形状の多様化も容易で、しかも、構造も簡単な発光装飾器具を提供すること。 【解決手段】作動液11が減圧封入された環状パイプ1であって、当該環状パイプ1を、下部に受熱管部12を備え、かつ、上部には放熱管部13を備えて構成する一方、前記受熱管部12と放熱管部13を少なくとも一部が透明な昇降管部14・14にて連通して、前記受熱管部12の近傍に配設された加熱機構から受熱した際において前記作動液11及びその蒸気が当該環状パイプ1内を循環可能であり、かつ、前記環状パイプ1の受熱管部12には、上向きに膨出する蒸気膨張室を上昇管内に気泡を供給するために設ける一方、放熱管部13にも、上向きに膨出する蒸気収縮室を形成し、更に、前記環状パイプ1の周囲には作動液11を発生せしめる光源を配設した。	
2007-96177	液中装飾体観賞器、及び液中装飾体観賞器の製造方法	公益財団法人 若狭湾エネルギー研究センター	B44C 3/00 B44C 5/06 B44C 5/00	【課題】アクアリウム観賞器としての使用に適すると共に、容器等のデザイン自由度が高く、意匠性にも優れ、しかも、極めて簡単に作製可能な液中装飾体観賞器、及び液中装飾体観賞器の製造方法を提供すること。 【解決手段】収容物を透視可能な容器1と、この容器1に收容された浮遊媒液Wの中に揺蕩(ようとう)状態に浸漬された装飾体Dと、前記容器1の浮遊媒液Wよりも比重が小さく、前記浮遊媒液Wとは非相容性のポリマーが熱履歴により固化して当該浮遊媒液の液面を封止する液面封止層2とを含んで構成した。	
2009-280088 2009/12/10	分子模型	504145320 国立大学法人 福井大学	G09B 23/26 (20060101)	【課題】発砲スチロールからなる球状部材を用いた場合でも連結部材を挿し込んでしっかり保持することができるとともに連結部材の抜き差し動作の繰り返しに対して耐久性のある分子模型を提供することを目的とするものである。【解決手段】分子模型は、発砲スチロールからなる球状部材1と、球状部材1を連結する直管状の連結部材3と、球状部材1に挿し込まれた際の抜け止め用突起が外周面に形成されるとともに内部に挿し込まれた連結部材3の端部を圧接保持する保持用突起が内周面に形成された接続部材2とを備えている。抜け止め用突起により接続部材2は球状部材1内に係合状態となって連結部材3とともに引き抜かれることはなく、保持用突起により連結部材3は接続部材2によりしっかりと保持されて繰り返し抜き差しされても抜けやぶれることはない。【選択図】図1	権利継続中
2012-138763	ゲル状玩具製作キット	学校法人金井学園	A63H 33/00	【課題】子供でも簡単にできる作業で、適度な流動性と弾性に併せて衝撃に対する形状保持性を有するゲル状物質を調節することができ、また資源の無駄遣いを抑えることも可能で、しかも、安全かつ安価なゲル状玩具製作キットを提供すること。 【解決手段】ゲル状玩具の製作キットを、個別に包装されたグアガム、ホウ砂および還元性単糖・少糖を含んで構成することにより、ゲル状玩具を作製する際、還元性単糖・少糖を添加して適度な流動性及び弾性を有するゲル状物質を作製できるようにした。 【選択図】図1	

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	I P C	要約	ステータス
2014-252281 2014/12/12	打楽器の自動演奏装置及び 自動演奏方法	504145320 国立大学法人 福井大学	G10F 1/08 (20060101), G10H 1/00 (20060101)	<p>【課題】演奏家が実際に演奏するような音質を既存のM I D I規格等の制御手段で簡単に再現することができる自動演奏装置を提供する。</p> <p>【解決手段】楽曲データに基づいて打楽器の自動演奏を行なう打楽器の自動演奏装置において、打楽器の発音部を打撃して発音させる打撃手段と、この打撃手段を駆動させて前記発音部を打撃させる駆動手段と、前記楽曲データに基づいて前記駆動手段へ駆動指令信号を出力する制御手段と、前記制御手段から出力される前記駆動指令信号にON / OFFの時間間隔を付与するゲートタイムの付与手段とを有する。前記打撃手段による前記発音部への打撃力を一定に維持してもよい。</p> <p>【選択図】図1</p>	ステータス 出願審査中

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	IPC	要約	ステータス
2004-028622 2004/02/04	超電導同期機	504145320 国立大学法人 福井大学, 504196300 国立大学法人 東京海洋大学, 503018032 北野精機株式 会社	H02K 55/04 (20060101), B63H 21/17 (20060101), H02K 9/00 (20060101), H02K 9/19 (20060101)	【課題】バルク超電導体を効率よく冷却することができ、且つ、着磁化されたバルク超電導体の磁束を効率よく利用することができる超電導同期機を提供する。 【解決手段】回転軸2に回転板3を設け、回転板3にバルク超電導体4を固定し、バルク超電導体4の回転軌道の両側に周方向に所定間隔で互に対向するように電機子5を配設し、回転板3はバルク超電導体4の結晶のc軸が回転軸2と平行になり、かつ、バルク超電導体4のc軸方向の両端面が外部に露出するように、バルク超電導体4をc軸に関する側面で保持し、回転板3と回転軸2は冷媒源に連通する冷媒流路6、7、8を有し、バルク超電導体のc軸に関する側面は、回転板3の冷媒流路6の内部空間に開放され、あるいは、仕切壁を介して回転板3の冷媒流路6に接している。【選択図】図1	権利継続中
2004-028642 2004/02/04	超電導同期機	504145320 国立大学法人 福井大学, 504196300 国立大学法人 東京海洋大学, 503018032 北野精機株式 会社	H02K 55/04 (20060101), B63H 21/17 (20060101), H02K 9/00 (20060101), H02K 9/19 (20060101)	【課題】超電導体コイルを効率よく冷却することができ、且つ、超電導体コイルの強い磁力を利用することができる超電導同期機を提供する。【解決手段】回転軸2に回転板3を設け、回転板3に超電導コイル4を固定し、超電導コイル4の回転軌道の両側に周方向に所定間隔で互に対向するように電機子コイル5を配設した超電導同期機において、回転板3は、超電導コイル4の巻線中心軸の軸方向端面が外部に露出するように超電導コイル4を保持し、回転板3と回転軸2は冷媒源に連通する冷媒流路6を有し、超電導コイル4は、その表面の一部が回転板3の冷媒流路6の内部空間に開放され、あるいは、仕切壁37を介して回転板3の冷媒流路6に接している。【選択図】図1	権利継続中
2005-006985 2005/01/14	電子鏡	504145320 国立大学法人 福井大学	G09F 9/00 (20060101), A47G 1/00 (20060101)	【課題】近視の人がレンズが嵌っていないメガネフレームを掛けて自分に似合うものを間違うことなく選択することが出来る電子鏡の提供。【解決手段】鏡に近づいた状態で顔全体をハッキリ見ることが出来る電子鏡であって、正面にはハーフミラー1を設け、該ハーフミラー1の後方にはデジタルカメラ2を配置すると共に、該デジタルカメラ2で撮った顔画像を映し出す液晶パネル3を設け、該液晶パネル3に映し出された顔画像をハーフミラー1を介して反射させて見ることが出来るように構成している。【選択図】図1	権利継続中
2005-083724 2005/03/23	光ファイバセンサ装置	504145320 国立大学法人 福井大学	G01B 11/16 (20060101), G01K 11/12 (20060101)	【課題】光ファイバに多数個のセンサを設けることが可能で、短距離から長距離まで広範囲に測定することができ、かつ、低価格で汎用性のある光ファイバセンサ装置を提供する。【解決手段】監視対象2の歪を、光ファイバ11によって検出する光ファイバセンサ装置1において、光ファイバ11のコア11a内に設けられた一枚ないし複数枚の屈折率変化によるフレネル反射板12a、12aを前記軸線に対して直交するように対向配置した一つ又は複数の歪センサ部12と、この歪センサ部12を監視対象2の歪測定部位に取り付ける取付部材21と、この歪センサ部12に向けて単一波長の光を照射する光源LDと、反射板12aによって反射された光を受光する受光部PDと、この受光部PDによって受光された反射光の強度変化の有無から、監視対象2の歪の有無を判断する信号処理部15とを有する。【選択図】図1	権利継続中
2006-196691 4724849	誘電体ケーブルおよび導波管	福井県	H01P 3/16	【課題】マイクロ波帯以上の高周波において、可撓性がない金属製導波管を代替することのできる、伝送損失が小さい低価格の伝送線路を提示する。 【解決手段】安価な化学繊維等の糸を束ねた繊維束、もしくは不織布を誘電体伝送路として、マイクロ波帯以上の高周波に対する可撓性に優れた低損失の、誘電体ケーブルまたは導波管とする。誘電率の異なる糸を組み合わせることで、伝送線路断面の誘電率分布構造を簡単に制御することができるので、電磁界の伝搬モードへの対応が容易となる利点がある。また、繊維束には空隙を多く含むので、繊維束の誘電率は、空隙の分だけ糸の誘電率より小さくなり、電磁界の伝送損失も小さくなる。 【選択図】図1	

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	I P C	要約	ステータス
2006-261778	集光装置における集光レンズ位置調節機構	公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター	F24J 2/08 F24J 2/38	<p>【課題】 簡素な構造で、かつ、省スペースで設置でき、日周運動に応じて集光レンズを確実に追従させることにより、熱エネルギーを効率的に取り出すことができる集光装置における集光レンズ位置調節機構を提供すること。</p> <p>【解決手段】 集光レンズ1は支持枠体2により枠縁が保持されており、かつ、この支持枠体2の両側各面には少なくとも2箇所に支軸部材3が設けられている一方、前記支持枠体2を外囲いして支持するスタンド4には、一对のガイド部材41・41が配設され、かつ、各ガイド部材41は、互いに異なる二直線方向にそれぞれガイドレール41a・41bを有する屈曲形状に成形されており、これら各異方向のガイドレール41a・41bに沿って前記支軸部材3がそれぞれスライド自在に支承されて、これらガイド部材41・41間に前記支持枠体2が横架され、支持枠体2が揺動することによって、太陽の日周運動に追従して集光レンズ1の仰角を調整できる。</p>	
2006-312044 2006/11/17	ジャイロトロン装置	504145320 国立大学法人福井大学	H01J 25/00 (20060101), H01J 23/20 (20060101)	<p>【課題】 周波数の微調整が可能なジャイロトロン装置を提供する。【解決手段】 空洞共振器12の軸線C方向の寸法及び前記軸線Cに交叉する方向の寸法の少なくとも一方を変化させる形状変化手段と、この形状変化手段に作用して前記寸法の変化を生じさせる駆動手段とを有する。駆動手段としては形状変化手段に所定の電圧を印加する電圧印加手段9を用い、かつ、形状変化手段が、印加された電圧に応じて寸法が変化する性質を有する材料から形成された圧電体102とする。【選択図】 図1</p>	権利継続中
2007-161606 2007/06/19	アクチュエータ駆動システムおよびアクチュエータの制御方法	504145320 国立大学法人福井大学	H02N 11/00 (20060101), //B25J 19/00 (20060101)	<p>【課題】 本発明は、アクチュエータの変位の後戻り現象を抑制し、印加電圧値を変化させることなく屈曲変位量および発生力を滑らかに変化させて過電圧等による電極の破壊や劣化を回避可能なアクチュエータの制御方法を提供することを目的とする。【解決手段】 本発明のアクチュエータ駆動システムは、第1面と第2面とを有するフィルム、および、該フィルムの第1面、第2面上にそれぞれ形成された第1電極、第2電極とを備えるアクチュエータと、前記アクチュエータに電気的に接続され、前記第1電極から前記第2電極へ正または負の電圧パルスを複数回連続して印加可能であり、少なくとも該電圧パルスの周波数及び/またはPWM値を変化し得る駆動装置と、を含む。【選択図】 図4</p>	権利継続中
2007-217275	サイフォン式循環型ヒートパイプ	公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター	F28D 15/02 F28D 15/06	<p>【課題】 作動温度範囲の拡張が図れると共に、温熱輸送量の増大も実現でき、しかも、トップヒートや水平ヒートでの使用にも適したサイフォン式循環型ヒートパイプを提供すること。</p> <p>【解決手段】 環状パイプ1の所定部位に受熱管部を配設し、この受熱管部とその上方に配設された貯溜タンク2とを温液上昇管部により接続すると共に、前記受熱管部には蒸気膨張室を連設する一方、前記貯溜タンク2には、内部に空隙を残して熱媒液を収容すると共に、下部に温液下降管部を連結してタンク下方に配設された放熱管部と接続し、かつ、当該放熱管部には前記タンク内に収容した熱媒液11の液面レベルよりも液頭位置の高い冷液上昇管部を連結して、この冷液上昇管部と前記受熱管部に連通する冷液下降管部の端部同士を、タンク内部の空隙を経由して前記貯溜タンク2を貫通する伝熱性の冷却管部を介して接続して構成した。</p>	

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	IPC	要約	ステータス
2007-5429	ループ型ヒートパイプ	公益財団法人 若狭湾エネルギー研究センター	F28D 15/02	<p>【課題】 ボトムヒートにおける熱輸送性を飛躍的に向上させることができ、作動温度範囲の拡大も可能で、しかも、構造が簡単であって生産性も非常に高いループ型ヒートパイプを提供すること。</p> <p>【解決手段】 熱媒体液11が減圧封入された環状パイプ1であって、当該環状パイプは、下部に加熱機構に連繋される受熱管部12を備え、かつ、上部に放熱管部13を備えて構成する一方、前記受熱管部12と放熱管部13は昇降管部14a・14bにて連通されて、受熱時において前記熱媒体液11が当該環状パイプ1内を循環可能とし、かつ、前記環状パイプ1の受熱管部12には、上向きに膨出する蒸気膨張室Eを設け、上昇管部14aに連続的に気泡を供給する一方、放熱管部13にも、上向きに膨出する蒸気収縮室Sを形成した。</p>	
2008-119504	移動式ソーラ調理装置	公益財団法人 若狭湾エネルギー研究センター	F24C 1/00 F24C 1/16 F24J 2/02 F24J 2/08	<p>【課題】 幅広い形状のフライパンや重い銅鍋等を調理容器として使用しても調理作業に不都合が生じず、調理場所の変更や屋内への片付け作業も容易に行うことができ、しかも、レンズ角度の調節作業を省力的に確実かつ迅速に行える太陽光を利用する移動式ソーラ調理装置を提供すること。</p> <p>【解決手段】 キャリア台車と；この台車上に配設されたソーラ調理部と；このソーラ調理部に対して太陽光を集中せしめる集光レンズ部と；この集光レンズ部の両側に連結されてレンズ部を台車上に支持する支持フレームとを含んで構成する一方、前記支持フレームを、前記台車上的におけるソーラ調理部を挟んだ位置に枢支して、この枢支した支持フレームを、太陽光の焦点の水平位置にある枢軸を支点として回動可能とすると共に、前記キャリア台車における太陽光の焦点の鉛直位置に支持脚を出し入れ可能に設けて、接地した前記支持脚を支点として台車全体を水平方向に回轉可能とした。</p>	
2008-206876	光記録再生媒体の焦点誤差検出方法、およびそれに用いる発光装置のビーム分割調節器	学校法人金井学園	G11B 7/09 G11B 7/0065 G11B 7/135 G11B 7/24 G11B 7/007	<p>【課題】 光記録媒体の回折構造を利用して焦点誤差信号を得る装置において、対物レンズへの照射光が一樣でない場合でも、焦点誤差信号へのオフセットの発生を抑制することができる光記録再生媒体の焦点誤差検出方法を提供すること。</p> <p>【解決手段】 回轉する光記録再生媒体における参照面に対し、発光装置によりレーザー光を照射して、この照射したレーザー光に対する前記周期構造からの回折光および参照面反射光、もしくは回折光および参照面透過光をファーフィールド領域内に誘導せしめ、このファーフィールド領域内に光検知器を配置して、所定速度で回轉する前記光記録再生媒体の参照面上における接線方向への距離間隔$s/4$に対応する4つの異なる位置において、干渉する光の光強度をそれぞれ計測することによって、これらの計測したサンプリング値に基いて演算することにより信号を生成して、前記レーザー光の集光スポットにおける焦点誤差を検出する。</p> <p>【選択図】 図1</p>	
2008-297628	海綿鉄を再生可能な循環型水素製造方法	公益財団法人 若狭湾エネルギー研究センター	C01B 3/08	<p>【課題】 エネルギー消費量の少ない循環サイクル型の製造システムを実現できる上に、環境に優しく生産効率も非常に高い海綿鉄を再生可能な循環型水素製造方法を提供すること。</p> <p>【解決手段】 ボールミルのポット内に海綿鉄と水を装入する工程と；このポット内に装入した海綿鉄を酸化性ガスを除去した状態で粉碎し、粉碎された鉄粉とポット内の水とを反応させて水素を発生させる工程と；反応終了後のポット内に残留する酸化鉄粉を取り出し、これに炭素粉体を加えて混合し加熱することにより前記酸化鉄粉を還元して海綿鉄を再生する工程とを含む製造方法を採用した。</p>	

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	IPC	要約	ステータス
2009-194700 2009/08/25	蠟燭灯火を再現する照明装置及び蠟燭灯火の再現方法	504145320 国立大学法人 福井大学	H05B 37/02 (20060101), F21S 6/00 (20060101), //F21Y 101/02 (20060101)	【課題】和燭燭のような独特の照明特性を有する自然の灯火であっても、より本物に近い再現性で再現できる照明装置を提供する。【解決手段】自然の灯火の明るさとゆらぎを再現する照明装置において、再現対象となる灯火の色度と同一又は類似の色度を実現する複数の発光体2 1、2 2、2 3と、前記発光体の各々に一定の周波数を与える定則周波数発生手段3と、前記灯火の波長ごとの放射エネルギーの変化を予め測定することによって得られた放射エネルギー変化データを記憶する記憶部5と、この記憶部に記憶された前記放射エネルギー変化データに基づき、大きな放射エネルギー変化に対応する少なくとも一つの発光色の発光体を指定し、この発光体に付与される周波数を所定の可視周波数に切り換え、かつ、所定の時間間隔及び持続時間で明暗を繰り返させる変則周波数発生手段4とを有する。【選択図】図1	権利継続中
2009-242240 5061302	回転体角度保持機構と跳ね上げ眼鏡	福井県	G02C 5/10	【課題】単純な製造・組立で製作可能な跳ね上げ機構で、60度と120度の跳ね上げ角度を安定保持する、眼鏡および跳ね上げ部品を2本のネジで交換できる跳ね上げ眼鏡の提供。 【解決手段】眼鏡前枠にジグザグ状に切抜き曲げ加工した矩形状切片に取り付けた六角柱状体2のネジ穴に、眼鏡後枠の穴を通して取り付けネジで固定する跳ね上げ眼鏡。眼鏡前枠に上向きの回転力を与えると、回転中心軸を中心に眼鏡前枠は弾性力で跳ね上がり、60度で安定保持する。更に眼鏡前枠に回転力を与えると、120度で眼鏡前枠は安定保持する。更に眼鏡前枠に下向きの回転力を与えると、120度から60度、60度から0度に回転移動する。また六角柱状体の交換が必要なときは、取り付けネジを取り外し、六角柱状体を側面方向に移動して取り外すことで、容易に六角柱状体を交換できる。 【選択図】図1 8	
2010-153320	ポリイミド系高分子アクチュエータ、及びその製造方法	関西電力㈱、 日本原子力発電㈱、北陸電力㈱、公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター、 福井大学	H02N 2/00 C08G 73/10 H02N 11/00	【課題】機械的強度および耐薬品性、耐放射線性において高機能化を図ることができ、しかも、電圧印加時の後戻り現象も抑制できる高機能なポリイミド系高分子アクチュエータ、及び当該アクチュエータを効率的に製造するための製造方法を提供すること。 【解決手段】本発明においては、上記課題を解決するためにポリイミド系高分子から成るイオン交換膜の両面に電極を接合して高分子アクチュエータを作製した。また本発明は、必要に応じて上記イオン交換膜に、ジアミンとテトラカルボン酸二無水物との重縮合により得られる繰り返し構造単位を含有するポリイミド系高分子であって、アニオン性あるいはカチオン性官能基を含有するポリイミド系高分子を使用した。	
2010-33911	高分子アクチュエータ及びその製造方法	公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター、福井大学	H02N 11/00	【課題】応答速度や屈曲量の向上だけでなく、ねじれのような複雑な動きや複合的な動きを可能にするとともに、これら動きの制御が容易な高分子アクチュエータを提供する。 【解決手段】イオン伝導性高分子膜(S1)の両面に導電性材料(Sa)で被覆したイオン伝導性高分子複合体を有する高分子アクチュエータ(2)であって、少なくとも一軸方向に延伸したイオン伝導性高分子膜(S1)を有するものとした。イオン伝導性高分子膜複合体(S1, Sa)の駆動面(P)を、前記イオン伝導性高分子膜(S1)の延伸軸と交叉する方向に設定してもよい。	

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	IPC	要約	ステータス
2011-210796	加熱温度調節機能を備えた太陽炉	関西電力㈱、 日本原子力発電㈱、北陸電力㈱、公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター	F24J 2/02	<p>【課題】 使用時における安全性の確保や加熱温度の維持に必要な加熱温度の調節を精確に、かつ、安定して行うことができ、また、レンズや反射鏡の大型化にも容易に対応可能で、しかも、レンズや反射鏡等の構造を複雑化させる必要もない加熱温度調節機能を備えた太陽炉を提供すること。</p> <p>【解決手段】 太陽光を集光するための集光レンズ11或いは凹面反射鏡12を備えた集光光学系1と；この集光光学系1により収束する光の焦点位置、若しくはその近傍に設けられた加熱部2とを有する太陽炉において、前記集光光学系1と加熱部2との間に、遮蔽物で囲まれた開口部Aの大きさによって収束する光の通過面積を増減させる絞り機構3を設けて構成したことにより、前記加熱部2に配置された被加熱物Tに対する太陽光の照射量を絞り機構3の開口部Aの大きさに調整して加熱温度を調節可能とした。</p>	
2012-055038 2012/03/12	熱輸送方向を切替可能なヒートパイプ、及び逆止弁により熱輸送方向の自動切替が可能なヒートパイプ	397022885 公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター、 504145320 国立大学法人福井大学	F28D 15/06 (20060101), F28D 15/02 (20060101), F24F 3/00 (20060101)	<p>【課題】 バルブを開閉操作するだけでトップヒートとボトムヒートを簡単に切り替えることができ、また熱輸送性にも優れ、地熱を利用した冷暖房システムにも問題なく使用でき、しかも、イニシャル・ランニングコストの低減も図れる熱輸送方向を切替可能なヒートパイプを提供すること。【解決手段】 熱媒液Lとの熱交換が可能な部位として、第一熱交換部1と；高位タンク2と；第二熱交換部3とを備える一方、これらの部位を繋ぐ配管として、第一の液上昇管4と；第一の液下降管5と；第二の液上昇管6と；第二の液下降管7とを配設し、更に、前記第一熱交換部1と第二熱交換部3には、受熱に応じて第一の液上昇管4または第二の液上昇管6中に気泡Bを供給する気泡供給手段を設けると共に、少なくとも第一の液上昇管4と第一の液下降管5の何れか一方にバルブVを配設して構成した。【選択図】 図1</p>	権利継続中
2012-061339 2012/03/19	光合波器及びこの光合波器を用いた画像投影装置	504145320 国立大学法人福井大学	G02B 6/12 (20060101)	<p>【課題】 可視光の3波長を合波する光合波器を提供する。【解決手段】 第1～第3導波路101～103及び第1～第3合波部110～130は、第1可視光が第2合波部120でモード結合により第2導波路102に伝搬され、第2導波路102の第1可視光が第3合波部130でモード結合により第3導波路103に伝搬されたのち第2導波路102に伝搬され、第2可視光が、第1合波部110でモード結合により第3導波路103へ伝搬されたのち第3合波部130でモード結合により第2導波路102へ伝搬され、第3可視光が第1合波部110でモード結合により第2導波路102へ出力の一部が伝搬され、残りが、第3導波路103から位相制御部140に伝搬されて第2導波路102の第3可視光の残りの部分と位相整合され、第3導波路103と第2導波路102の第3可視光が前記第3合波部で合波されて第2導波路102へ伝搬されるように構成した。【選択図】 図1</p>	権利継続中
2012-112133	熱輸送方向が自動反転するヒートパイプ	公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター	F28D 15/02	<p>【課題】 冷暖房システムなどにおいてヒートパイプの使用本数を減らすことができ、また、熱輸送方向も自動的に切り替わり、しかも、用途やサイズ等の自由度も大きく、コスト面でも有利な熱輸送方向が自動反転するヒートパイプを提供すること。</p> <p>【解決手段】 ヒートパイプにおいて、熱媒液Lとの熱交換が可能な部位として、第一熱交換部1と；高位タンク2と；第二熱交換部3とを具備する一方、これらの部位を繋ぐ配管として、第一の液上昇管4と；第一の液下降管5と；第二の液上昇管6とを配設し、更に、前記第一熱交換部1と第二熱交換部3に、受熱に応じて各熱交換部から上側に熱媒液Lを移動させる液上昇管中に気泡Bを導入する手段を設けると共に、第一熱交換部1内において、第一の液上昇管4の端部を、第二の液上昇管5の端部と水平、若しくは水平よりも低い位置に下向きに配置して構成した。</p>	

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	IPC	要約	ステータス
2012-235164	レーザー除染装置	公益財団法人 若狭湾エネルギー研究センター	G21F 9/28 B23K 26/08 B23K 26/36 B23K 26/03 B23K 26/04 B23K 26/00 B23K 26/14	【課題】 汚染物の内側に侵入したRIでも除去できる十分なエネルギー密度を確保することができ、また汚染物の表面に凹凸がある場合でも照射ムラが生じず、レーザー加工時の熱的影響によるRIの拡散や再汚染もなく、しかも、コスト面や環境面、作業効率の面でも優れたレーザー除染装置を提供すること。 【解決手段】 レーザ発振器1と；XY軸スキャナ21及びZ軸スキャナ22を備え、かつ、前記レーザー発振器1から出射されたレーザー光L1をfθレンズ等の複合レンズを介さず汚染物Tの表面上に集光して光走査を行うスキャナ装置2と；前記汚染物Tの表面形状測定装置3とを具備すると共に、前記スキャナ装置2のZ軸スキャナ22には、表面形状測定装置3で得られた形状データに基づいて、レーザー光L1の焦点が汚染物Tの表面にくるように照射位置に応じて焦点位置を自動的に調整する焦点位置制御部22bを備えて構成した。	
2012-242505 5499349	巻線構造及びそれを を用いた電気機器	福井県	H02K 3/12 H02K 3/18 H01F 5/00	【課題】 本発明は、巻線の占有率を向上させるとともに接続による巻線抵抗の増加のない巻線構造を提供することにある。 【解決手段】 巻線構造1は、螺旋状に周回するように変形された1本の連続する線材2を部分的に渦巻き状に重ね合わせて形成された複数の巻層部3を厚さ方向に密着して配列してなり、巻層部3は、曲線部分において線材2が内周側から外周側に向かって順次曲率を小さくなるように形成されて線材2が全周にわたって密着するように重ね合わされている。 【選択図】 図1	
2012-283832 2012/12/27	半導体変調素子	504145320 国立大学法人 福井大学	H01L 29/872 (20060101), H01L 29/47 (20060101), H01L 21/338 (20060101), H01L 29/812 (20060101)	【課題】 本発明は、コンパクトで簡単な構造の半導体変調素子を提供することを目的とする。【解決手段】 半導体変調素子は、電極層との間にショットキーバリアが形成された半導体層を備え、ショットキーバリアを介して流れる電流は、真電流成分It及び変位電流成分Idを含んでおり、所定の入力電圧範囲において真電流成分Itが変位電流成分Idよりも小さくなるように設定されている。【選択図】 図1	出願審査中
2013-066975 2013/03/27	アクチュエーター における発生駆動力 の評価方法	504145320 国立大学法人 福井大学	H02N 11/00 (20060101)	【課題】 電圧の印加等によって本体部分が変形して駆動力を発生させるアクチュエーターの発生駆動力を簡単かつ正確に評価できる方法を提供する。【解決手段】 動力源の供給によって本体部分が変形して駆動力を発生させるアクチュエーターの発生駆動力を評価する方法において、前記アクチュエーター1の本体部分の変形方向と交叉する面に弾性部材2を密着させて配置し、前記アクチュエーター1を駆動させて前記本体部分とともに前記弾性部材2を変形させ、前記弾性部材2の変形量を非接触で計測し、前記弾性部材2の変形量と計測位置とから、前記弾性部材2の荷重とたわみの関係に基づいて前記アクチュエーター1の発生駆動力を求めるようにした。【選択図】 図1	権利継続中
2013-068573 6229196	特性インピーダンスを調整可能な伝送線路	福井県	H01P 3/04 H01P 3/06 H01B 7/02	【課題】 同軸型伝送線路と平行二線型伝送線路の両高周波伝送線路に、広範囲の値に調整された特性インピーダンスを与え、多品種少量生産に適した伝送線路を提供する。 【解決手段】 導電体に絶縁性の糸を巻き付けて形成した絶縁層を備える電線で構成した伝送線路で、前記電線の導電体は複数の細長形状の導電体素線が平行に並んでおり、それぞれの電線の任意の位置での断面において、導電体素線は一列に配列しており、それぞれの電線は断面の長辺側を互いに接して正対する位置関係に設定することで、特性インピーダンスを調整している。 【選択図】 図1	

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	IPC	要約	ステータス
2013-102527	電磁波の位相速度制御方法及び位相速度制御構造	国立大学法人 福井大学, 学校法人金井 学園	H01P 3/20	【課題】簡単かつ低コストで電磁波の位相速度の制御が可能な方法を提供する。 【解決手段】電磁波照射手段から照射された電磁波の位相速度を制御する方法であって、少なくとも電磁波が伝搬する表面が表面プラズモン結合を生じさせる金属で形成された平行平板導波路と、この平行平板導波路に前記電磁波を導入する導入手段とを準備し、前記平行平板導波路の幅を前記電磁波の波長以下とし、前記電磁波が伝搬する前記平行平板導波路の表面粗さを変化させることで前記電磁波に対する前記平行平板導波路の有効屈折率を変化させ、これにより前記導入手段から前記平行平板導波路に導入した電磁波の位相速度を制御するようにした。 【選択図】図7	
2013-102527 2013/05/14	電磁波の位相速度制御方法及び位相速度制御構造	504145320 国立大学法人 福井大学, 390013815 学校法人金井 学園	H01P 3/20 (20060101)	【課題】簡単かつ低コストで電磁波の位相速度の制御が可能な方法を提供する。 【解決手段】電磁波照射手段から照射された電磁波の位相速度を制御する方法であって、少なくとも電磁波が伝搬する表面が表面プラズモン結合を生じさせる金属で形成された平行平板導波路と、この平行平板導波路に前記電磁波を導入する導入手段とを準備し、前記平行平板導波路の幅を前記電磁波の波長以下とし、前記電磁波が伝搬する前記平行平板導波路の表面粗さを変化させることで前記電磁波に対する前記平行平板導波路の有効屈折率を変化させ、これにより前記導入手段から前記平行平板導波路に導入した電磁波の位相速度を制御するようにした。 【選択図】図7	権利継続中
2013-74752	光記録再生装置の光ビーム焦点位置決め機構、及びその方法	学校法人金井 学園	G11B 7/09 G11B 7/24097 G11B 7/007 G11B 7/0065 G11B 7/135	【課題】光ビームが空間的にランダム位相変調されている場合でも、参照面上における光ビームの焦点位置を正確に位置決め可能な光記録再生装置の光ビーム焦点位置決め機構及びその方法を提供すること。 【解決手段】発光装置と；光記録媒体の参照面上に光ビームを集光する集光光学系と；所定のセルを通過した光ビームの一部の光束について位相変調を行える光位相変調器と；任意のセルで光ビームの一部の光束を遮断できる光透過制御素子と；1次元周期構造からの回折光と参照面反射光、または回折光と透過参照光を、これらが重なり合うファーフールド内へと誘導せしめる導光光学系と；前記ファーフールド内に設置された光検知器と；光ビームの焦点誤差信号を生成する信号生成部と；焦点誤差信号に基いて、光ビームの焦点の参照面に対する深さ方向の位置を制御する焦点位置制御部とを含んで構成した。 【選択図】図1	
2014-015314 2014/01/30	界面制御機構及び界面制御方法	504145320 国立大学法人 福井大学	G02F 1/19 (20060101)	【課題】本発明は、作用電極に接する2種類の液体の間の界面の形状を変化させる場合に作用電極に印加する電圧を低電圧にすることができるとともに高速で制御することができる界面制御機構及び界面制御方法を提供することを目的とする。【解決手段】作用電極Eに接するように配置された第一液体W及び第一液体Wと不混和性を有する第二液体Oの間に形成された界面N3の形状を制御するため、第一液体Wに、第二液体Oに対して難溶性で作用電極Eの電極面に吸着して酸化還元される反応物質Cと、反応物質Cの支持電解質として機能するイオン性の界面活性剤Kとを溶解し、第二液体Oに、界面活性剤Kを溶解し、反応物質Cの酸化還元反応が可逆的に生じるように作用電極Eに電圧を印加して第二液体O内の界面活性剤Kが電極面に吸着又は脱離することで界面N3の形状を変化させる。【選択図】図1	出願審査中

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	I P C	要約	ステータス
2014-038817	電磁波検出器及び電磁波検出方法	国立大学法人 福井大学, 学校法人金井 学園	G01J 1/02, G01N 21/41, G01J 1/04, H01Q 19/12,	<p>【課題】低コストで光学レンズよりも高い集光効果を得ることが可能な電磁波検出器を提供する。</p> <p>【解決手段】導波部材に電磁波を入射し、この導波部材によって基板に設けられた電磁波検出部に電磁波を集光させて電磁波の検出を行う電磁波検出器において、前記導波部材が、前記基板に密接して設けられた本体と、この本体に形成され少なくとも表面が電磁波を伝搬して前記電磁波との間で表面プラズモン結合を生じさせる金属で形成されたV溝と、このV溝の頂部に形成され前記電磁波の波長以下の幅寸法を有する出口とを備え、前記出口から出射される電磁波の電場の振動方向を前記電磁波検出部によって検出できる電磁波の電場の振動方向に一致させた。</p> <p>【選択図】図1</p>	
2014-110619	長距離レーザー切断装置	公益財団法人 若狭湾エネルギー研究センター	B23K 26/046 B23K 26/038 B23K 26/064	<p>【課題】遠く離れた位置にある対象物の切断加工を行えるだけでなく、照射ヘッドからの距離が様々な対象物に対して焦点位置を効率的に無段階で自動調節することができる長距離レーザー切断装置を提供すること。</p> <p>【解決手段】ファイバレーザー光源1と；集光光学系21として光軸上に配置された前後の固定レンズ21a・21aと、その間に配置された可動レンズ21bとを備えると共に、前記可動レンズ21bを光軸に沿って前後に無段階で移動調節可能なレンズ駆動部22を備えた照射ヘッド2と；ヘッド回転機構3と；前記照射ヘッド2と切断対象物W間の距離を測定可能な距離測定器4と；距離測定器4から受信した距離データに基づいてレンズ駆動部22の制御を行う制御装置6とから構成し、前記可動レンズ21bの位置制御によって、加工用レーザー光L1の焦点位置Fを、照射ヘッド2から1m以上離れた位置で自動調節可能とした。</p>	
2014-190643 5768305	固定子の製造方法および装置	福井県	H02K 15/04	<p>【課題】複数のコイルを同一導線により成形する際の加工スペースをコンパクトにするとともに、その後の所用相数のコイルユニットのコイルを渡り線の交差が生じないようにモータ配設順に配列する配列作業が容易で、効率的な固定子の製造方法およびその装置を提供する。</p> <p>【解決手段】1本の導線により成形された複数のコイル21及び渡り線22を順次配列した相毎のコイルユニット20から配列順序に基づいてコイルを取り出して配列することで配列コイル群を形成する配列工程と、配列コイル群と取り出すコイルとの間の渡り線が配列コイル群と他のコイルユニットとの間の渡り線に対して同じ側に配置されるようにコイルを取り出すコイルユニットを他のコイルユニットに対して配置する配置工程と、コイルユニットのすべてのコイルを配列順序に基づいて配列した配列コイル群を配列順序が維持された状態で配設して固定子を製造する配設工程とを備えている。</p> <p>【選択図】図4</p>	
2015-134883 5942236	コイルユニット配列装置	福井県	H02K 15/04 H02K 3/18	<p>【課題】複数のコイルを同一導線により成形する際の加工スペースをコンパクトにするとともに、その後の所用相数のコイルユニットのコイルを渡り線の交差が生じないようにモータ配設順に配列する配列作業が容易で、効率的なコイルユニット配列装置を提供する。</p> <p>【解決手段】複数相に対応する複数のコイルが相毎に渡り線で接続されたコイルユニットの当該各コイルを所定の配列順序で配列して配列コイル群を形成するコイルユニット配列装置28であって、前記コイルユニットを支持する自転可能なコイルユニット支持体33を備えた保持部31aと、前記配列コイル群を支持する配列コイル群支持体35を備え、前記保持部31aに対し相対的に回転する受け部31bと、を備えたコイルユニット配列装置28を構成した。</p> <p>【選択図】図1</p>	

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	IPC	要約	ステータス
2016-135788	加熱攪拌装置	学校法人金井学園, 関西電力株式会社	B01F 15/06 B01F 7/16 B01F 7/18 B01F 7/24 C02F 11/04	<p>【課題】装置の小型化および高い加熱効率を実現することができる加熱攪拌装置を提供する。</p> <p>【解決手段】加熱攪拌装置100は、容器13に收容された被処理物20を加熱攪拌する。加熱装置100は、攪拌翼1と、回転軸2と、通電部10と、給電部4とを備える。攪拌翼1は、容器13内に配置され、少なくとも一部分に導電体部が形成されている。回転軸2は、攪拌翼1に接続され、攪拌翼1を回転させる。通電部10は、導電体部と、導電体部の外周を覆う絶縁体とを有する。給電部4は、容器13外部に配置され、通電部10に高周波電流を供給する。容器13内において、通電部10の少なくとも一部分は攪拌翼1の近傍に配置される。</p> <p>【選択図】図1</p>	
2016-517831	合波器、この合波器を用いた画像投影装置及び画像投影システム	504145320 国立大学法人 福井大学	G02B 6/12 (20060101), G02B 6/125 (20060101), G02B 6/42 (20060101), H01S 5/022 (20060101)	<p>【課題】レーザ光源のレーザ光の拡がりによる合波部への影響を抑制するとともに、小型化を可能にした合波器を提供する。【解決手段】波長の異なる複数の可視光が入射される複数の導波路101, 102, 103と、この導波路の途中に設けられ少なくとも二つの導波路を伝搬する可視光のモード結合を行う合波部110, 120, 130と、前記可視光を前記導波路に照射するレーザ光源16a, 16b, 16cとを備え、前記複数の可視光を波長多重する合波器において、前記レーザ光源に最も近い位置に配置された第1合波部110を備え、この第1合波部110に導入される前記可視光の伝搬軸線Yから離間した位置に光軸Xを有するレーザ光源16a, 16cを、所定の拡がり角で拡がるレーザ光の外縁が前記第1合波部の手前を通過するように、前記光軸を前記伝搬軸線に対して傾斜させて配置した。【選択図】図3</p>	出願審査中
5061301	ニッケル・チタン合金材料を用いた眼鏡フレーム	福井県	G02C 5/00 G02C 5/12 G02C 5/14	<p>【課題】本発明は、少なくとも一部にニッケル・チタン合金材料を用いた眼鏡フレームにおいて、使用者の顔型に合わせて変形調整することが容易で、かつ、丈夫でファッション性に優れ、なおかつ、軽量な眼鏡フレームを提供することを目的とするものである。</p> <p>【解決手段】少なくとも一部にニッケル・チタン合金材料を用いた眼鏡フレームにおいて、変形調整部位にニッケル・チタン合金材料に接合された純チタン材料が用いられており、接合部分の引張強度が純チタン材料以上となっていることを特徴とする。</p> <p>【選択図】図1</p>	

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	IPC	要約	ステータス
2005-030858 2005/02/07	難分解性物質の分解菌及びそれを用いた環境の浄化方法	504145320 国立大学法人 福井大学	C12N 1/12 (20060101), B09C 1/10 (20060101), C02F 3/00 (20060101), C02F 3/34 (20060101)	【課題】芳香族化合物やハロゲン化有機化合物、染料などの有害物質である難分解性物質を効率よく分解することができる、日本国内で分離した新規な微生物を提供すること。【解決手段】芳香族有機化合物等の環境汚染物質に汚染された環境を改善するのに極めて有効な新規な白色腐朽菌株、および当該白色腐朽菌株を用いた低コストで二次廃棄物等の発生が少ない環境汚染物質の分解方法の提供。【選択図】なし	権利継続中
2005-166205 2005/06/06	水の光還元体及びその製造方法	504145320 国立大学法人 福井大学	B01J 35/02 (20060101), B01J 31/28 (20060101), B01J 37/02 (20060101), C01B 3/04 (20060101), //H01M 8/06 (20060101)	【課題】本発明は、従来に比べ水素生成効率を向上させると共に簡単に製造することができる水の光還元体及びその製造方法を提供することを目的とするものである。【解決手段】本発明に係る水の光還元体1は、基体2の表面に超臨界流体又は亜臨界流体の発泡作用により多数の外部連通路3が形成されているので、外部連通路3の内面を含めると表面積が格段に大きくなり、基体に含有される光励起有機半導体4が外部から照射する光を受けて活性化する効率が格段に向上する。そして、外部連通路3の内面に水還元触媒5を付着させているので、光が照射される光励起有機半導体4に近接して水還元触媒5が配置され、光励起有機半導体4から水還元触媒5への電子の移動が容易となり、水素生成効率を格段に高めることが可能となる。【選択図】図1	権利継続中
2008-130914	高速製錬可能な低温製鉄法	公益財団法人 若狭湾エネルギー研究センター	C21B 13/00 C22B 1/16 C22B 1/244 C22B 5/10 C21B 13/04	【課題】製錬に要する還元反応時間を大幅に短縮することができ、炉内ガス成分を調整する外部操作も不要で、しかも、炉の耐久性が低下することもなく、製鉄に必要な還元材の使用量および二酸化炭素の排出量を大幅に低減することができる高速製錬可能な低温製鉄法を提供すること。 【解決手段】酸化鉄及び炭素を微細に粉碎して粉粒化し、この粉粒状となった酸化鉄と炭素とを所定の割合で混合した後、この混合粉体をそのまま或いは、纏めて固めた固形状の形態で炉内に収容してガス排出のみ可能な状態で約800℃～1200℃の温度で加熱保持することにより一酸化炭素が高濃度の炉内雰囲気下で鉄を精製した。	
2010-150405	S F 6 ガス回収装置、及びS F 6 ガス回収方法	公益財団法人 若狭湾エネルギー研究センター	C01B 17/45 B01D 53/04	【課題】発電所、変電所、加速器施設等において使用される高電圧機器の圧力容器または密封容器中に封入されるS F 6 ガス(絶縁ガス)を、外界に放出することなく完全に回収して別容器に移送を行えるS F 6 ガス回収装置、及びその方法を提供すること。 【解決手段】S F 6 ガスが封入された被回収容器1と；この被回収容器1に接続され、槽内に吸着材が収容されて成る低温吸着ポンプ5と；この低温吸着ポンプ5の槽内を液体窒素温度まで冷却可能な冷却手段6と；前記低温吸着ポンプ5の槽内を所定温度まで昇温可能なヒーター装置7と；前記低温吸着ポンプ1に接続された油回転ポンプ4と；この油回転ポンプ4に直列的に接続された移送用圧縮機3と；この移送用圧縮機3に接続され、前記被回収容器1から低温吸着ポンプ5を経由して移送されたS F 6 ガスを収容可能な貯蔵容器2とを含んで構成した。	
2013-003519 2013/01/11	鉛含有ガラスからの鉛の回収方法	504145320 国立大学法人 福井大学	C22B 13/02 (20060101), C22B 3/44 (20060101), C22B 5/12 (20060101), C22B 7/00 (20060101)	【課題】鉛を含有する光学レンズ、ブラウン管などの鉛含有ガラスを高温に加熱する必要がなく、酸化鉛の蒸気を系外に排出させずに鉛を容易に回収することができる鉛含有ガラスからの鉛の回収方法を提供する。【解決手段】鉛含有ガラスから鉛を回収する方法であって、閉鎖系内で鉛含有ガラスをガラス溶融剤の存在下で900～1100℃の温度に加熱することによって溶融させ、得られた鉛含有ガラスの溶融物に一酸化炭素ガスを接触させ、当該鉛含有ガラスの溶融物中で析出した鉛を回収することを特徴とする。【選択図】図1	権利継続中

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	I P C	要約	ステータス
2013-008222	都市型洪水緩和システム	学校法人金井学園	E03F 1/00 E03B 3/03 E03B 3/02	<p>【課題】本発明は、より高精度の局所降雨予想を行い、この局所降雨予想を利用して局所的に雨水活用装置システムを起動させ、現代の局所的ゲリラ豪雨による町の洪水被害を効果的に抑制するための都市型洪水緩和システムを提供することを目的とする。</p> <p>【解決手段】本発明に係る都市型洪水緩和システムは、受信装置および該受信装置から得た情報を解析する制御装置を備える自動開閉バルブが、一般家庭、事業所および公共事業等に設置した雨水タンクに取り付けられて構成される雨水活用装置を、広域な町の各所に配置した雨水活用装置システムと、大気の状態を3次元局所大気情報Aとして取得可能なプロファイラと、広域な気象情報Bを受信可能で、該気象情報B及び前記プロファイラから得た3次元局所大気情報Aに基づいて局所降雨予想情報Cを計算可能なコンピュータ装置と、情報を発信する放送局と、を含む。</p> <p>【選択図】図1</p>	ステータス
2013-231961 2013/11/08	気体分離膜の設計方法	504145320 国立大学法人 福井大学	B01D 67/00 (20060101), B01D 69/00 (20060101), B01D 71/28 (20060101)	<p>【課題】本発明は、規則正しい空孔構造を有する高分子材料に応力を印加することで、空孔構造を設計して気体から一部の気体分子を選択的に透過させることを可能とする気体分離膜の設計方法を提供することを目的とする。【解決手段】高分子鎖に沿う軸方向に気体を透過する空孔が形成されたε型結晶からなるシンジオタクチックポリスチレンに対して軸方向と直交する方向から圧縮応力を印加することで、S-I型結晶に構造転移させる。S-I型結晶には、気体分子を収容可能に形成されるとともにジグザグ状に配置された多数の空隙と、空隙よりも狭く形成されるとともに隣接配置された空隙同士を順次連結する多数の連通路とを有する空孔が形成されて、気体の一部の気体分子が選択的に透過するように空孔を設計することができる。【選択図】図8</p>	出願審査中
2016-039520 2016/03/02	レアメタル含有ガラスからのレアメタルの回収方法	504145320 国立大学法人 福井大学	C22B 5/12 (20060101), C22B 30/06 (20060101), C22B 34/14 (20060101), C22B 26/10 (20060101), C22B 11/02 (20060101), C22B 11/00 (20060101), C22B 61/00 (20060101), C22B 3/04 (20060101)	<p>【課題】酸溶液、アルカリ溶液、塩化物などを使用しないでレアメタルを含有するガラス固化体などのレアメタル含有ガラスからレアメタルを効率よく容易に回収することができるレアメタル含有ガラスからのレアメタルの回収方法を提供する。【解決手段】閉鎖系内でレアメタル含有ガラスに含まれている二酸化ケイ素100質量部あたりの量が30～500質量部であるガラス溶剤およびレアメタル含有ガラスに含まれている二酸化ケイ素100質量部あたりの量が30～200質量部である重金属酸化物の存在下でレアメタル含有ガラスを900～1100℃の温度に加熱することによって溶融させ、得られたレアメタル含有ガラスの溶融物に一酸化炭素ガスを接触させながら当該溶融物を600～800℃の温度に冷却し、当該温度を維持することによってレアメタル含有析出物を析出させ、当該レアメタル含有析出物を回収することを特徴とする。【選択図】なし</p>	出願審査中
2016-207480	初期雨水除去装置とこれを備えた雨水タンク装置、雨水タンク装置の通信ネットワーク、初期雨水除去方法	学校法人金井学園	E03B 3/03 G01F 23/26	<p>【課題】清浄な雨水を自動的に状況判断して取水可能な次世代型の初期雨水除去装置を提案する。</p> <p>【解決手段】初期雨水除去装置は、建造物への降雨水を排水するために建造物の屋根の下方に取付けた樋と雨水タンクとを中継し、注水口24から雨水タンクへ注水し得る貯留方式の初期雨水除去装置であって、排水口26からの水位を測定可能な、通信装置を備えた水位センサ50と、水位センサ50と送受信可能なコンピュータ70と、コンピュータ70から受信した信号により排水口26を開閉可能な排水手段60とを備え、水位センサ50は、本体10に貯留した雨水の水位を感知してコンピュータ70に水位を送信し、コンピュータ70は、水位に応じて、排水手段60に開口信号又は閉口信号を送信し、排水手段60が受信した信号に応じて排水口26を開閉して、雨水の貯水・排水を行う。</p> <p>【選択図】図1</p>	

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	IPC	要約	ステータス
2017-001480 2017/01/07	鉛含有ガラスからの鉛の回収方法	504145320 国立大学法人 福井大学	C22B 13/02 (20060101), C22B 7/00 (20060101)	<p>【課題】鉛を含有する光学レンズ、ブラウン管などの鉛含有ガラスを高温に加熱する必要がなく、酸化鉛の蒸気を系外に排出させずに鉛を容易に回収することができる鉛含有ガラスからの鉛の回収方法を提供する。【解決手段】閉鎖系内で鉛含有ガラスから鉛を回収する方法であって、一酸化炭素を発生する物質を耐熱性容器A内に入れ、耐熱性容器Aとは別に耐熱性容器Bを用意し、耐熱性容器B内に鉛含有ガラスおよびガラス溶融剤を入れた後、耐熱性容器Bを耐熱性容器A内に入れ、耐熱性容器Aの開口部を密閉した状態で当該鉛含有ガラスが当該ガラス溶融剤の存在下で900～1100℃の温度に加熱されるように耐熱性容器Aを加熱することによって当該鉛含有ガラスを溶融させ、得られた鉛含有ガラスの溶融物に前記一酸化炭素を発生する物質から発生した一酸化炭素ガスを接触させ、当該鉛含有ガラスの溶融物中で析出した鉛を回収することを特徴とする。【選択図】図1</p>	ステータス 出願審査中

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	IPC	要約	ステータス
2001-160884 2001/05/29	応力拡大係数の誤差評価方法	301027524 福井大学長	G01N 3/32 G01L 1/00	【要約】 (修正有) 【課題】 ただ一度の解析により求めた応力拡大係数中の誤差の程度を評価し、結果的に、精度の高い応力拡大係数を短時間で算出することができる応力拡大係数の誤差評価方法を提供する。【解決手段】 き裂の先端を原点とし、き裂の上下面を各々 $\theta = \pm \pi$ とする極座標系 (r, θ) において、き裂の周辺に配置した特異要素を用いて有限要素解析を行い、特異要素上の節点の x, y 方向各々の変位 $U(r, \theta), V(r, \theta)$ を求め、前記節点変位を用いて、以下の式(1)により所要の応力拡大係数を求め、前記節点変位を用いて、以下の式(2)により前記式(1)によって求められた所要の応力拡大係数に含まれる誤差を評価する。	権利継続中
2003-027986 2003/02/05	電力系統の供給信頼度評価方法とその装置	000003687 東京電力株式会社, 504145320 国立大学法人 福井大学	H02J 3/00 (20060101), G06F 17/18 (20060101), G06Q 50/00 (20060101)	【課題】 電力系統における設備投資抑制や既存設備の有効活用を図るためには、供給信頼度を多目的に評価することが要望されている。【解決手段】 複数の系統構成の中から健全時に電力供給に支障がなく、且つ、想定事故時に電力供給に支障が生じない系統構成候補を選択する選択手段と、この選択手段によって選択された系統構成候補の停電時間期待値、設備稼働率乖離度及び送電損失をそれぞれ評価値として算出する評価値算出手段を設ける。評価値算出手段によって求められた三つの評価値に基づき評価ベクトルを作成し、この評価ベクトルによって電力供給系統の供給信頼度を多面的に評価する。【選択図】 図1	権利継続中
2003-201538	光照射による分子挙動の観測方法および同法に用いるクロスパイプ型マイクロ波空洞共振器	学校法人金井学園	G01N 22/00	【課題】 レーザー光の熱影響によるノイズの発生を防ぐことができ、しかも、新規なバリエーションの観測を実現することができる光照射による分子挙動の観測方法を提供すること。 【解決手段】 マイクロ波観測器4の導波管41の先端にクロスパイプ型のマイクロ波空洞共振器1を連結する一方、観測すべき試料Sを溶媒と混合して透光容器2内に充填し、この透光容器2を前記マイクロ波空洞共振器1の上部に開設されたホルダ孔11に差し込むとともに、当該マイクロ波空洞共振器1の両側面に貫設された貫通孔12に向けて、レーザー光発生器3からレーザー光Lをパルス発振して、マイクロ波誘導吸収挙動を前記マイクロ波観測器4によって検出する一方、試料Sからの発光を前記分光器5に導いて、光電子増倍管6により過度発光量を検出するという技術的手段を採用した。 【選択図】 図1	
2005-102369 4273233	感圧センサーシート	福井県	G01L 5/00	【課題】 感圧フィルムや感圧シートで、2次元平面での圧力分布の経時変化を計測するセンサー機能と感圧センサー構造体を使用する場合の曲面への適応性、表面の平滑性、センサー構造体の一体化等の施工性・加工性の両特性を満たす。 【解決手段】 圧縮特性と圧縮回復特性を保有する多層構造繊維構造体の上面部および下面部の両面に導電性を有する導電糸を配置し、多層構造シートを押圧したとき、多層構造の上面部および下面部を一定間隔に保つ連結部が圧縮され、上面部および下面部に配置した導電糸が接触する。この時両面の導電糸間の電気抵抗が変化し、この電気抵抗変化を検知することで多層構造シート表面への圧力が検知できる。感圧センサーシートを構成する多層構造繊維構造体の製造時に導電糸を同時に製織、製編もしくは縫製する。 【選択図】 図3	
2005-124303 2005/04/21	電磁波出力測定装置	504145320 国立大学法人 福井大学	G01R 29/08 (20060101), H01Q 13/22 (20060101)	【課題】 本発明は、導波管内を伝搬する電磁波のメインビームに影響を及ぼすことなく本稼働中にリアルタイムで電磁波出力を測定することができる電磁波出力測定装置を提供することを目的とするものである。【解決手段】 高出力マイクロ波加熱装置は、高周波のマイクロ波出力装置としてジャイロトロン1、出力されたマイクロ波を所望の方向に伝搬させるコルゲート導波管2及び内部に被加熱物が設置されたアプリケーション3を備えている。そして、コルゲート導波管2に隣接して電磁波出力測定装置4が配置されている。コルゲート導波管2には管軸方向に沿って複数の孔部が形成されており、これらの孔部から外部に漏出した電磁波が干渉して形成された平面波をアンテナ部40で測定してコルゲート導波管2内の出力を算出する。【選択図】 図1	権利継続中

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	IPC	要約	ステータス
2006-284361 2006/10/18	路面のすべり摩擦予測方法及び装置並びにそのプログラム	504145320 国立大学法人 福井大学	G01W 1/10 (20060101), G08G 1/00 (20060101)	【課題】本発明は、路面状態を路面雪氷層の熱収支モデル及び氷・水・空気収支モデルによりモデル化して各モデルの同時連成解析による定量評価を行うことで、路面のすべり摩擦係数を予測することが可能な路面のすべり摩擦予測方法及び装置並びにそのプログラムを提供することを目的とするものである。【解決手段】気象条件及び交通条件に関する予測データ等を設定し（S100、S101）、予め構築した熱収支モデルに基づいて熱収支を計算する（S102）とともに、予め構築した氷・水・空気収支モデルに基づいて各収支を計算し（S103）、雪氷状態予測データを算出して（S104）、算出された雪氷状態予測データに基づいて路面のすべり摩擦係数を決定する（S105）。【選択図】図8	権利継続中
2006-352957 2006/12/27	摩耗ゲージ	504145320 国立大学法人 福井大学	G01B 7/00 (20060101), G01N 3/56 (20060101)	【課題】摺動部の摩耗量を段階的に正確に測定する摩耗ゲージを提供する。【解決手段】産業機械の摺動部材の摩耗を検知するための摩耗ゲージであって、摺動部材に固定可能であり、先端部に間隔をもって配置された1以上の摩耗検知用ラインを備え、摺動部材の摩耗に伴い前記1以上の摩耗検知用ラインが段階的に摩滅する、絶縁板からなる摩耗ゲージ本体部を備える。【選択図】図1	権利継続中
2007-089175 4656109	感圧用繊維構造体	福井県	G01L 5/00 G01L 1/20	【課題】従来の広範囲の圧力を検知する感圧シートを利用して圧力検知システムを構築するには、作業工程が多く複雑であるために生産性が低く、さらに平滑性、柔軟性等の不足により施工性も悪く用途も限定される。【解決手段】圧力を検知する感圧センサー部分と配線部分が一体化した感圧用繊維構造体を開発した。この感圧用繊維構造体は、製造工程時に目的に応じた各感圧センサー間の配線が可能であるため、製造工程の省力化が図られ製造コストも大幅に低減できる。さらに、感圧用繊維構造体は各センサー間を配線する導電性接続糸からなる配線部とセンシング部を同一繊維構造体内で構成できるので、柔軟性に優れていること、取り扱いが容易であること、スケールアップが容易である。さらには複数領域の圧力検知することおよび同一構造体で異なる圧力を検知することも可能である。【選択図】図1	
2007-094365 4630978	多層薄膜の分析方法ならびに装置	福井県	G01N 1/28 G01N 1/22	【課題】多層薄膜が表面に形成された試料に対して、試料調整を行わず、同一元素が複数の層に含まれていても多層薄膜標準試料を用いず、試料の各層の組成と膜厚を算出する分析方法および装置を提供すること。【解決手段】試料にレーザービームを照射するレーザー照射手段と、試料をサンプリング範囲内に移動させる移動手段と、レーザービームの作用により試料から発する物質を捕集するサンプリング手段と、レーザービームの作用により削られた深さを測定する深さ測定手段と、サンプリング範囲毎に捕集された物質の組成を分析して試料の各層の組成と膜厚を算出する分析手段とを用いる。【選択図】図8	
2009-042092 5303759	圧電振動子の駆動装置	福井県	B06B 1/06	【課題】本発明は、常に圧電振動子を共振点にて確実に駆動することにある。【解決手段】本発明は、圧電振動子10と、これに高周波駆動電圧を与える発振源50を設け、圧電振動子10と並列に補正用コンデンサ20を接続する。圧電振動子10に流れる電流と補正用コンデンサ20に流れる電流を、鉄心30の芯線を中心に、互いに左右反対に回転させることで、圧電振動子10の寄生容量の影響が打ち消され、電流位相が正確に計測されるので、制御回路を用いて共振点で確実に駆動することが可能となる。【選択図】図1	
2009-055768 2009/03/09	金属材料の水素分析装置及び方法	504145320 国立大学法人 福井大学	G01N 21/63 (20060101)	【課題】本発明は、ヘリウムガス雰囲気中で金属材料表面をレーザー照射して発光する水素の発光強度により金属材料中の水素を精度よく分析することができる水素分析装置及び方法を提供することを目的とするものである。【解決手段】ヘリウムガスをガスボンベ8から密閉容器2内に供給して金属材料S表面の測定部位をヘリウムガス雰囲気に設定する。測定部位に向かってレーザー照射部5よりレーザーを照射して測定部位にアブレーションが生じないようにヘリウムガスをプラズマ化する。レーザー照射中においてプラズマ化したヘリウムガスの内部で発生する光を光ファイバ15から分析部16に伝送し、水素の発光波長の発光強度に基づいて測定部位に含まれる水素を定量的に分析する。【選択図】図1	権利継続中

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	IPC	要約	ステータス
2009-166652 2009/07/15	固体材料の水素分析装置及びその方法	504145320 国立大学法人 福井大学	G01N 21/63 (20060101)	【課題】固体材料以外の水素の影響をほぼ完全に除去して、当該固体材料に含まれる水素濃度の定量分析を正確に行うことができる水素分析方法及びその装置の提供を目的とする。【解決手段】固体材料表面の測定部位に不活性ガスを供給するガス供給工程と、前記測定部位に向かってレーザーを照射することで前記測定部位にプラズマを発生させるレーザー照射工程と、レーザー照射中においてプラズマから発生される光を測定して、測定された水素の発光波長の発光強度に基づいて前記固体材料に含まれる水素濃度を分析する分析工程とを有し、前記ガス供給工程では、少なくともプラズマが発生した領域における前記不活性ガスの圧力が、前記測定部位の周囲の圧力よりも高圧になるように、前記不活性ガスを供給する水素分析方法である。【選択図】図2	権利継続中
2009-259334 2009/11/12	リング状ボース・アインシュタイン凝縮体とこれに生成するダーク・ソリトン、その生成方法及びこれらを用いた外場の測定方法	504145320 国立大学法人 福井大学	G01D 21/00 (20060101), G01R 29/08 (20060101), G01R 33/02 (20060101), G01B 7/30 (20060101)	【課題】リング状ボース・アインシュタイン凝縮体(BoseEinsteinCondensate;以下「BEC体」という)をプローブとした電磁場、重力場、回転速度などの新しい高感度計測装置を提供する。【解決手段】リング状BEC体は、希薄原子気体からなる葉巻型BEC体を真空中にトラップし、前記葉巻型BEC体の長径方向に光プラグを導入して中空葉巻型BEC体を形成し、前記中空葉巻型BEC体の中央のリング状部分にスライス光を導入することによって該中空葉巻型BEC体を該中央のリング状部分に集中させることにより生成した。【選択図】図4	権利継続中
2009-264861 2009/11/20	光導波路型バイオセンサーおよびそれを備えたバイオセンサーシステム	509093026 公立大学法人 高知工科大学, 504145320 国立大学法人 福井大学	G01N 21/45 (20060101), G02B 6/122 (20060101)	【課題】検出感度を高くできるバイオセンサーを提供する。【解決手段】光導波路型バイオセンサー10は、基板1と、クラッド2と、コア3と、開口部4とを備える。クラッド2は、基板1上に形成される。コア3は、マッハツェンダー型のコアからなり、クラッド2中に形成される。そして、コア3の一部の領域321は、抗体を含む。開口部4は、コア3のうち、抗体がドープされた一部の領域321に接してクラッド2に設けられる。その結果、一部の領域意321は、開口部4を介して外部に露出される。【選択図】図1	権利継続中
2009-47165	ビーム量測定機能に優れたイオンビーム分析装置	公益財団法人 若狭湾エネルギー研究センター	G01N 23/225	【課題】大気雰囲気下における試料分析において試料の含有元素に左右されず正確な定量分析を行うことができ、かつ、対象試料が複数ある場合でも迅速な分析作業が可能で、しかも、構造も簡単に製造面でも有利なビーム量測定機能に優れたイオンビーム分析装置を提供すること。 【解決手段】イオンビームBを出射可能なビーム出射装置1と前記イオンビームBを大気雰囲気側に取出し可能なビーム取出窓3とを、イオンビームBが薄膜31の枠近傍位置を通過するように配設すると共に、前記X線強度測定器7の検知部71を、前記薄膜31のビーム通過点近傍の枠部32外側に配置することによって、イオンビームBの照射により試料Sから放出されるX線を前記枠部32で遮断しつつ薄膜31からのX線だけを検出して、そのX線強度からビーム量を測定可能とした。	
2010-143517	光分析装置の拡散反射用アタッチメント	公益財団法人 若狭湾エネルギー研究センター	G01N 21/01	【課題】試料の微小部位の分析を行うことができ、また検出光量の増大も可能で、透過光用の分析装置にそのまま組み込んで使用することもでき、しかも、ミラー数が少なく構造も非常に簡単な光分析装置の拡散反射用アタッチメントを提供すること。 【解決手段】光分析装置の光学アタッチメントAにおいて、光源からの入射光を反射集光する穴開き主鏡11と、この穴開き主鏡11の前方に対向配置され、主鏡が集光した光を開口部11aに向けて再反射して、反射光を穴開き主鏡11の裏側に集光する小型副鏡12とを備えた入射側光学系1と；この入射側光学系1の小型副鏡12が集光する光の焦点部に試料Sを固定可能な試料固定部2と；前記試料固定部2の前方に入射側光学系1の穴開き主鏡11と逆向きに配置されて、試料Sから放射された拡散反射光を反射集光する穴開き反射鏡31から成る検出側光学系3とを含んで構成した。	
2010-156999 2010/07/09	光導波路型バイオセンサ装置	504145320 国立大学法人 福井大学, 509093026 公立大学法人 高知工科大学	G01N 21/64 (20060101)	【課題】センシング対象物を、複数の位置において、長距離であっても迅速、簡便に精度良く測定することが可能な光導波路型バイオセンサ装置を提供する。 【解決手段】複数の光導波路型センサ部4が光ファイバ3によって直列に光学的に接続され、光導波路型センサ部4の励起光パルス入射側とは反対側の光ファイバ3にはファイバブラッググレーティング5が設けられ、励起光パルス光源からの励起光パルスによる光導波路型センサ部4からの蛍光をファイバブラッググレーティング5で反射させることにより前記複数の光導波路型センサ部4を接続する光ファイバ3を通じて光パルス検出部に導入して検出することを特徴とする。【選択図】図1	権利継続中

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	IPC	要約	ステータス
2010-191747	導電ケーブルにおける被覆絶縁体の劣化測定装置および劣化測定方法	学校法人金井学園	G01N 22/02 G01N 22/00	<p>【課題】 ケーブルを切断する必要がなく、かつ、導電体によってマイクロ波が吸収されることもなく、外周を被覆する絶縁体の劣化および材料変質を高精度に測定することができる導電ケーブルにおける被覆絶縁体の劣化測定装置および方法を提供する。</p> <p>【解決手段】 ホールド部材2に保持されたケーブルCが、マイクロ波空洞共振器1のピンホール12の外側開口部を密着状態に被覆可能である一方、ガン発振器3から発振されたマイクロ波がサーキュレータ4により導波管11を介してマイクロ波空洞共振器1内に導入され、このマイクロ波の一部が前記ピンホール12における外側開口部から漏出可能であって、この漏出したマイクロ波が、前記ホールド部材2に保持されたケーブルCの絶縁体Aに照射され、かつ、導入されたマイクロ波が当該マイクロ波空洞共振器1内において反射して、アンプ5によって増幅されてマイクロ波観測器6により検知して観測可能にする。</p> <p>【選択図】 図4</p>	
2010-47693	高速中性子の線量分布測定方法	公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター	G01T 3/00 G01T 1/29 G21K 5/02	<p>【課題】 加速器を用いた熱外(熱)中性子照射装置において、照射される熱外(熱)中性子に混入する高速中性子の角度分布および強度の測定を迅速かつ低コストで行える高速中性子の線量分布測定方法を提供すること。</p> <p>【解決手段】 ターゲットTのビーム照射点Pから陽子ビームBの進行方向に所定距離離れた位置に、中性子による核反応の閾値が0.1MeV以上の放射化箔F1を基準として設置すると共に、この基準とした放射化箔F1の鉛直方向、水平方向或いは斜め方向に、前記ビーム照射点Pを中心として一定距離、所定角度ごとに複数の放射化箔F2・F3…を円周上に配置して、前記中性子照射装置から中性子の照射を行った後、放射化箔F1・F2…中に生成された放射性物質から放出される所定エネルギーのγ線の強度を測定して高速中性子の角度分布及び強度を測定する点に特徴がある。</p>	
2011-519597 2010/06/22	油状態監視方法および油状態監視装置	504145320 国立大学法人福井大学	G01N 17/00 (20060101), G01N 33/30 (20060101), G01N 21/59 (20060101)	<p>機械または設備で使用された油の劣化の状態を監視する油状態監視方法および油状態監視装置に関する。油状態監視方法および油状態監視装置による油状態監視では、機械または設備で使用された油の劣化の状態を監視するに際し、機械または設備で使用された油をろ過する。ろ過によって、ろ過前の油の中に存在していた汚染物を捕捉したフィルタから、油分を除去する。油分が除去されたフィルタに光を投射する。投射された光が、油分が除去されたフィルタを透過した透過光の色成分を検出する。</p>	権利継続中
2012-137209 2012/06/18	摩耗センサ	504145320 国立大学法人福井大学	G01B 7/00 (20060101)	<p>【課題】 摺動部の摩耗量を段階的に正確に測定する摩耗センサを提供する。【解決手段】 産業機械の摺動部材に先端部を向けて固定可能であり、摺動部材の摩耗を検知するための摩耗センサであって、複数の回路絶縁板が積層してなり、当該複数の回路絶縁板の各々には、1本の摩耗検知用プリントラインが配置されるとともに、複数の回路絶縁板内の所定の回路絶縁板上における摩耗検知用プリントラインは、複数の回路絶縁板内の他の回路絶縁板上における摩耗検知用プリントラインに対して、摩耗センサの先端部から積層の方向と垂直な方向に所定のピッチをもって配置されており、摺動部材の摩耗に伴い複数の回路絶縁板の各々に形成された摩耗検知用プリントラインが、先端部に近い摩耗検知用プリントラインから段階的に摩滅することを特徴とする。【選択図】 図1</p>	権利継続中
2012-155368	電磁波検出方法及び電磁波検出装置	国立大学法人福井大学, 学校法人金井学園	G01J 1/02, G02F 1/377, G01N 21/35	<p>【課題】 構成が簡素で高感度にTHz光等の電磁波の検出ができる電磁波の検出方法及び検出装置を提供する。</p> <p>【解決手段】 電気光学効果を用いたEOサンプリング法により電磁波を検出する電磁波検出方法において、サンプリング光照射手段から照射されたサンプリング光を非線形光学結晶に入射させ、電磁波照射手段から照射された検出対象の電磁波を集束させて増強し、増強した電磁波を前記非線形光学結晶に前記サンプリング光の光軸に対してチェレンコフ位相整合角で入射させ、位相整合された前記電磁波と前記サンプリング光とを結合させて出力される和周波成分又は差周波成分をヘテロダイン検波法又はホモダイン検波法で検出するようにした。</p> <p>【選択図】 図2</p>	権利継続中

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	IPC	要約	ステータス
2013-101840 2013/05/14	試料溶液の質量分析方法及びその装置	504145320 国立大学法人 福井大学	G01N 27/64 (20060101), G01N 27/62 (20060101), H01J 49/10 (20060101)	【課題】フリットを必要とせず、真空チャンバに試料溶液を連続投入しながらリアルタイムで分析が可能な試料溶液の質量分析方法を提供する。【解決手段】真空チャンバ内に導入した試料にレーザー光を照射してイオン化させることで質量分析を行う分析方法において、試料を含む試料溶液の貯留部から前記真空チャンバまで試料溶液を供給する溶液導入管と、この溶液導入管の先端から前記真空チャンバに前記試料溶液をパルス射出する試料溶液のパルス射出手段とを準備し、前記パルス射出手段により、前記溶液導入管の先端から前記真空チャンバに試料溶液をパルス状に射出し、前記真空チャンバにパルス状に導入された前記試料溶液にレーザー光を照射して試料イオンを生成させるようにした。【選択図】図1	権利継続中
2013-110067 2013/05/24	通過車両重量解析処理装置及び方法	504145320 国立大学法人 福井大学	G01G 19/03 (20060101), G01G 19/02 (20060101), G08G 1/02 (20060101), G08G 1/015 (20060101)	【課題】本発明は、上述した従来技術の課題に鑑み、少ないひずみ計により鋼床版上を通過する車両の軸重を精度よく解析処理することができる通過車両重量解析処理装置及び方法を提供することを目的とする。【解決手段】通過車両重量解析処理装置は、縦リブ及び横リブを備えた鋼床版を当該縦リブが橋軸方向に沿うように設けた橋梁を通過する車両の軸重を解析処理する通過車両重量解析処理装置であって、車両通過時の縦リブ及び横リブのひずみを測定する測定部1と、測定された縦リブのひずみに基づいて通過車両の仮軸重値を算出するとともに測定された横リブのひずみに基づいて算出された通過車両の車両重量値により仮軸重値を補正して軸重値を算出する処理部2とを備えている。【選択図】図5	権利継続中
2014-038817 2014/02/28	電磁波検出器及び電磁波検出方法	504145320 国立大学法人 福井大学, 390013815 学校法人金井 学園	G01J 1/02 (20060101), G01N 21/41 (20060101), G01J 1/04 (20060101), H01Q 19/12 (20060101), //G01N 21/3581 (20140101)	【課題】低コストで光学レンズよりも高い集光効果を得ることが可能な電磁波検出器を提供する。【解決手段】導波部材に電磁波を入射し、この導波部材によって基板に設けられた電磁波検出部に電磁波を集光させて電磁波の検出を行う電磁波検出器において、前記導波部材が、前記基板に密接して設けられた本体と、この本体に形成され少なくとも表面が電磁波を伝搬して前記電磁波との間で表面プラズモン結合を生じさせる金属で形成されたV溝と、このV溝の頂部に形成され前記電磁波の波長以下の幅寸法を有する出口とを備え、前記出口から出射される電磁波の電場の振動方向を前記電磁波検出部によって検出できる電磁波の電場の振動方向に一致させた。【選択図】図1	出願審査中
2014-154925 2014/07/30	高分子アクチュエーターの制御方法、高分子アクチュエーター及びこの高分子アクチュエーターを利用した微小流体送装置	504145320 国立大学法人 福井大学, 397022885 公益財団法人 若狭湾エネル ギー研究セン ター	H02N 11/00 (20060101), F04B 43/04 (20060101)	【課題】変形時の形や変形量の制御が可能な高分子アクチュエーターの制御方法を提供する。【解決手段】電圧を印加することで変形する高分子膜11aを有するアクチュエーター素子11と、このアクチュエーター素子11の少なくとも一方の面に配置されるとともにアクチュエーター素子11に対して相対的に抵抗値が小さく、アクチュエーター素子11と通電可能に接触する導電部材22とを準備し、導電部材22とアクチュエーター素子11との通電接触長を変換することで、アクチュエーター素子11の変形を制御する。導電部材22を複数に分割し、分割した導電部材22の各々を、スイッチを介して接続し、前記スイッチを切り替えることによって導電部材22とアクチュエーター素子11との接触長を変化させるようにしてもよい。【選択図】図3	出願審査中
2015-041926 2015/03/04	酸化生成物の抽出方法及び抽出システム	504145320 国立大学法人 福井大学	G01N 31/00 (20060101), C10M 175/00 (20060101), C10M 133/12 (20060101), G01N 33/30 (20060101)	【課題】機械又は設備で使用された油から、この油に含まれる酸化防止剤が酸化した酸化生成物を抽出することができる、酸化生成物の抽出方法及び抽出システムを提供する。【解決手段】抽出方法は、油から酸化生成物を抽出する方法である。油は、基油と酸化防止剤を含む。基油は、極性溶媒である。酸化防止剤は、極性溶質である。酸化生成物は、酸化防止剤が酸化して生成される。抽出方法は、混合工程と、ろ過工程を含む。混合工程では、油と無極性溶媒が混合され、酸化生成物が析出した、油と無極性溶媒を含む混合液が生成される。ろ過工程では、混合工程で生成された混合液が、フィルタを通してろ過される。【選択図】図1	出願審査中

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	I P C	要約	ステータス
2016-142817	放射線感应性ゲルインジケータ、及びその調整方法、及びその使用方法、及びその処理方法	学校法人金井学園 株式会社 NUCLEAR TECHNOLOGY 公益財団法人 若狭湾エネルギー研究センター	G01T 1/04	<p>【課題】 放射線の線量分布を可視化できるだけでなく、機能面で必要となる反応性や非拡散性、再利用性、並びに取り扱い面で必要となる安全性や廃棄処理の容易性に優れ、しかも、短いスパンで再使用が可能な放射線感应性ゲルインジケータを提供すること。</p> <p>【解決手段】 放射線感应性ゲルインジケータを、ヨウ化カリウムを加えた部分ケン化PVA水溶液をゲル化させて成るpH6超、pH8未満のゲル状態とし、更にゲル化剤としてホウ砂、pH調整剤として還元性単糖類を含む構成を採用した。</p> <p>【選択図】 図1</p>	

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	IPC	要約	ステータス
2003-068761	木質ボード積層体	学校法人金井学園	B27D 1/04 B32B 21/04 C09J 175/04 C09J 197/00 C09J 199/00	<p>【課題】安全性にすぐれ、かつ生分解性を有し、さらに製造コストの安価な木質ボード積層体を提供する。</p> <p>【解決手段】少なくとも2つの木質ボードと、該隣接する2つの木質ボード間に介在させた硬化樹脂組成物層とからなる積層体であって、該硬化樹脂組成物が、(i) ポリオール、(ii) ポリイソシアネート及び(iii) 該ポリオールに溶解する可溶性生分解性物質を含有する混合物の硬化反応生成物からなり、該可溶性生分解性物質の割合が該硬化樹脂組成物中10～50重量%であることを特徴とする木質ボード積層体。</p> <p>【選択図】なし</p>	
2004-003933 2004/01/09	バルク超電導体の着磁装置、着磁方法及び超電導同期機	504145320 国立大学法人福井大学, 504196300 国立大学法人東京海洋大学, 503018032 北野精機株式会社	H02K 55/04 (20060101), H01F 6/00 (20060101)	<p>【課題】液体窒素で冷却可能な77ケルビンの温度で磁束密度1テスラ以上の磁界を着磁することができ、かつ、着磁用磁束を効率よく利用でき、しかも、着磁後のバルク超電導体を単体として簡単に取り出して利用することができるバルク超電導体の着磁装置、着磁方法、および、それを利用した超電導同期機を提供する。【解決手段】バルク超電導体と、前記バルク超電導体を超電導に転移する臨界温度以下の温度に冷却する冷却手段と、前記バルク超電導体の結晶のa-b軸平面の断面形状とほぼ同形状に巻成した着磁コイルを有する着磁手段と、前記バルク超電導体をその結晶のc軸が前記着磁コイルの巻線中心軸と平行となりかつ前記バルク超電導体の結晶のa-b軸平面の断面形状が前記着磁コイルの巻線の中心軸に垂直な方向の横断面形状と整合するように支持する支持手段と、を備えた。</p> <p>【選択図】図1</p>	権利継続中
2004-098887 2004/03/30	電磁波シールド材	504145320 国立大学法人福井大学, 000190611 日東シンコー株式会社, 390036364 清川メッキ工業株式会社	H05K 9/00 (20060101)	<p>【課題】本発明では、ハーネス、信号ケーブル等のコードへの取付作業が容易で簡単に製造することが可能な電磁波シールド材を提供することを目的とするものである。【解決手段】シールド層1として、表面に熱可塑性樹脂の微粒子を包含した金属メッキ被膜を有する多数の粒体を該金属メッキ被膜同士を接着させて一体成形したものをを用い、シールド層1の片面に接着層2を積層する。シールド層1は、粒子表面の金属メッキ被膜が接着することで、全体として導電性を有しており、そのため十分なシールド効果を得ることができる。また、接着の際に微粒子同士が融着していることから、手で容易に切断することが可能となる。【選択図】図2</p>	権利継続中
2004-196554	両親媒性を有する生分解性ポリエステル及びその製造方法	学校法人金井学園	C08G 63/08 C08L 101/16	<p>【課題】両親媒性の生分解性ポリエステルを提供する。</p> <p>【解決手段】下記一般式(1)で表される両親媒性を有する分解性ポリエステル。</p> <p>【化1】</p> $(HO) \text{---} n \text{---} p \text{---} Z^2 \text{---} O \text{---} (\text{---} C \text{---} R^1 \text{---} O \text{---}) \text{---} q \text{---} H \quad \quad p \quad (1)$ <p style="text-align: center;">S O₃M</p> <p>(式中、Z²はリグニン骨格を示し、Mは塩形成性陽イオンを示し、R¹はアルキレン基を示し、nはリグニンスルホン酸中の水酸基の総数を示し、pは1以上でnより小さい数を示し、qは1以上の数を示す)</p> <p>【選択図】なし</p>	

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	IPC	要約	ステータス
2004-236902 2004/08/17	摺動材	504145320 国立大学法人 福井大学	F16C 33/12 (20060101), F16C 33/14 (20060101), F16C 33/20 (20060101)	【課題】本発明は、金属及び樹脂がバランスよく分布して安定した特性を有する摺動材を提供することを目的とするものである。【解決手段】熱可塑性樹脂の表面に金属メッキ処理により金属被膜を形成した多数の粉粒体を互いに接合させて一体成形することで、内部に金属をネットワーク状に形成させる。こうして作成された摺動材は、摺動面に金属及び樹脂がバランスよく分布して安定した耐摩耗性及び導電性を有するものとなる。特に、水中軸受に用いることで、電気的な導通性が安定して発揮されるようになる。【選択図】図1	ステータス 権利継続中
2005-005822 2005/01/13	複合シート体及びその製造方法	504145320 国立大学法人 福井大学	H01M 4/24 (20060101), H01M 4/26 (20060101), H01M 4/62 (20060101), //H01M 8/04 (20060101)	【課題】本発明は、水素吸蔵合金の微粉化に伴う脱落を抑制するとともに容易に変形可能な複合シート体及びそれを簡単な工程で製造することができる製造方法を提供することを目的とするものである。【解決手段】紙の原料となるパルプ等の繊維材料を水素吸蔵合金微粉末3とともに分散させた溶液を漉き網に流し込んで溜め漉きと同様の手法でシート状に形成する。形成されたシート体を乾燥させると、繊維材料同士が絡み合っ結合した繊維構造体2が形成されると共に、その内部には水素吸蔵合金微粉末3が分散保持されるようになる。繊維構造体2には、繊維材料の間に隙間が多数形成され、優れたガス透過性を有している。また、紙と同様に容易に変形可能であり、水素吸蔵合金微粉末は繊維材料の間の隙間に係止されて脱落が防止される。【選択図】図1	権利継続中
2005-100922 4332605	調湿材料およびその製造方法	福井県	C04B 28/18 C04B 14/04 C04B 38/00 C04B 40/02 C04B 111/00	【課題】組成にバラツキの多い天然のポズラン物質の反応性を高め、高い吸湿性と放湿性、イオン吸着・交換能等を併せ持つケイ酸カルシウム水和物系の調湿材料とその製造方法を得ることにより、快適で安全な住環境を少ない環境負荷で提供することを可能とする。 【解決手段】ゼオライト質凝灰岩を平均粒径10ミクロン以下に微粉砕することにより、メカノケミカル効果によってカルシウムイオンとの反応性を高め、180℃以下の水熱反応処理で平均細孔半径10ナノメートル以下の細孔を形成せしめた結晶性の良いケイ酸カルシウム水和物硬化体を、400℃以下で乾燥もしくは焼成することで多孔体を得る。 【選択図】図1	
2005-101911 4139868	高融点金属の高圧 casting 方法およびダイカスト装置	福井県	B22D 17/30 B22D 17/14 B22D 17/20 B22D 17/28	【課題】高融点金属のダイカストにおいて、射出スリーブ内壁における凝固層の形成と射出スリーブの熱変形に起因する問題を効果的に解決し、短時間で溶湯を鑄型キャビティに射出充填する高融点金属の高圧 casting 方法及びダイカスト装置を提供する。 【解決手段】射出スリーブ1とプランジャチップ2で射出容器を構成して、その内部に鑄込材料を装填し、該射出容器を鑄込口から分離させた状態で誘導加熱コイル15内に配置して前記射出容器の加熱と鑄込材料の溶解を行なった後、前記射出容器を直線移動させて鑄込口と連通し、次いでプランジャロッド3を所要の速度でプランジャチップ2に当接して前記射出容器内の溶湯を一気に鑄型キャビティに射出充填する。 【選択図】図1	

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	I P C	要約	ステータス
2005-195399 2005/07/04	中空微細線状金属 酸化物集積体及び その製造方法	504145320 国立大学法人 福井大学	C01G 23/053 (20060101), B01D 39/20 (20060101), B82B 1/00 (20060101), B82B 3/00 (20060101), B01D 39/14 (20060101), B01J 20/04 (20060101), B01J 20/06 (20060101), B01J 20/10 (20060101)	【課題】本発明の目的は、多数の均一径状の中空微細線状金属酸化物が平面方向に配列して集積している中空微細線状金属酸化物集積体、及びその製造方法を提供すること。【解決手段】多数の均一径状の微細線状合成樹脂体3を平面方向に配列して集積させて微細線状合成樹脂集積体4とし、次に、該微細線状合成樹脂集積体4を構成する微細線状合成樹脂体3の周囲に有機金属化合物をコーティングし、その後、有機金属化合物がコーティングされた微細線状合成樹脂集積体4を高温加熱し、有機金属化合物を焼成して微細線状合成樹脂体3を焼失させ、多数の中空微細線状金属酸化物が平面方向に配列して集積した中空微細線状金属酸化物集積体を得る中空微細線状金属酸化物集積体の製造方法。【選択図】図5	ステータス 権利継続中
2005-308394 4336833	摩擦接合装置	福井県	B23K 20/12	【課題】摩擦接合において、接合部材の形状や接合箇所制限なく適用可能で、接合位置を正確に位置決めでき、さらに、従来より発熱効率、発熱量が大きく、熱容量が大きい部材、熱伝導率の大きな部材を安定して高い品質で接合可能とする画期的な摩擦接合方法と装置を提供する。 【解決手段】摩擦発熱のための摩擦運動は、接合平面内の直交する2方向、即ち、X方向とY方向の運動成分を有する摩擦運動を行う。及び、その摩擦運動は、円運動で行う。 【選択図】図1	
2006-136988 2006/05/16	電気化学応答性多 孔質体	504145320 国立大学法人 福井大学	C09K 3/00 (20060101)	【課題】フェロセン化合物のような電気化学応答性を有する分子の機能を実際に利用するために、体積に対する担持効率、安定性、耐久性の良好な技術手段を提供する。【解決手段】無機多孔質体の表面水酸基が反応修飾されて電気化学応答性分子が結合固定されている電気化学反応性多孔質体とする。【選択図】図2	権利継続中
2006-159990 2006/06/08	高分子アクチュ エータおよびその 製造方法	504145320 国立大学法人 福井大学	H02N 11/00 (20060101)	【課題】従来の貴金属を用いた高分子アクチュエータに比べて、コスト的に安価で、短時間で簡単に製造可能な高分子アクチュエータおよびその製造方法を提供する。【解決手段】高分子化合物からなるフィルムと、当該フィルムの両面に形成されている電極とを含み、前記電極間に電圧を印加することによって、前記フィルムを屈曲変形させる高分子アクチュエータにおいて、前記電極として、高分子パイナンド、その中に分散されているカーボン粉末とを含んでなる電極を用いる。【選択図】なし	権利継続中

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	I P C	要約	ステータス
2006-189068 4572275	有機高分子材料の 難燃加工方法	福井県	C08J 7/04 C09K 21/14 D06M 15/643	【課題】本発明は、安全性に優れたシリコン化合物を用いて、有機高分子材料に高い難燃性を付与し得る難燃加工方法を提供することを目的とするものである。 【解決手段】全有機基数の80%以上がフェニル基であると同時に少なくとも60モル%以上が分子式 $RSiO_{3/2}$ (Rは有機基)で示される単位を含み、分子式 SiO_2 単位が20モル%未満、分子式 $R_3SiO_{1/2}$ が単位が20モル%未満、分子式 R_2SiO 単位が40モル%未満のシリコン化合物であって、150℃以上の温度雰囲気下で熔融して有機高分子材料の燃焼ガスにより発泡可能なシリコン化合物を主成分とする後加工用難燃剤を、有機高分子材料の加工表面にコーティング又はディッピングして乾燥させることで難燃機能層を形成する。 【選択図】なし	
2006-205894 2006/07/28	シリカガラス材料	504237050 独立行政法人 国立高等専門 学校機構, 504145320 国立大学法人 福井大学	C03C 3/06 (20060101), C03B 20/00 (20060101), C03C 17/245 (20060101), H01J 61/30 (20060101), H01J 61/35 (20060101)	【課題】活性金属またはそのハロゲン化物と高温状態で直接接触するという条件下であっても、失透が発生しがたいシリカガラス材料、および失透が発生しがたく、長寿命化が図られた放電ランプを提供すること。【解決手段】活性金属またはそのハロゲン化物と接触させて使用する用途に用いられるシリカガラス材料であって、活性金属またはそのハロゲン化物と接触する面に、金属不純物含有量が100ppb以下であり、ハロゲン含有量が100~5000ppmであるハロゲン含有シリカガラス層が形成されていることを特徴とするシリカガラス材料、その製造法および失透防止方法、ならびに活性金属またはそのハロゲン化物が封入された発光管を有する放電ランプの前記発光管の内面に前記ハロゲン含有シリカガラス層が形成された放電ランプ。【選択図】図1	権利継続中
2007-073058 2007/03/20	テルビウム含有ガ ラス	504145320 国立大学法人 福井大学	C03C 3/23 (20060101), C03C 3/253 (20060101)	【課題】優れたファラデー効果を発現し、ガラス転移点が高く、ガラス構造が熱的に安定しているテルビウム含有ガラスを提供すること。【解決手段】テルビウム、ケイ素およびゲルマニウムから選ばれた少なくとも1種の元素、アルミニウムおよびバリウムから選ばれた少なくとも1種の元素、酸素、およびフッ素を含有してなり、ケイ素およびゲルマニウムの合計量1モルあたりのテルビウムの量が0.25モル以上であるテルビウム含有ガラス、ならびに前記テルビウム含有ガラスが用いられてなる磁気光学デバイス。【選択図】図1	権利継続中
2007-151328 4324703	塑性加工用微振動 印加機構	福井県	B30B 5/00	【課題】従来の塑性加工中に加工具や被加工材に微振動を印加する方法および装置は、超音波振動子あるいは磁歪振動子を加振源として用い、加工具、被加工材を含めた機械振動系を共振状態で使用する。超音波振動子あるいは磁歪振動子の伸縮変位は数 μm 程度と微小であるため共振状態で使用するが、塑性加工中、共振状態を継続し安定的な超音波振動を発生させ、印加し続けることは困難である。ましてや、塑性加工条件や、加工進行程度に対応して印加する周波数を変更することはできない。 【解決手段】本発明による塑性加工方法及び装置は、カムにより十分大きな振幅の微振動を発生させ、その微振動を、直接、加工具や被加工材に印加するものである。また、カムの回転速度を制御することで、塑性加工条件や、加工進行程度に対応して印加する周波数を変更することが可能となる。 【選択図】 図1	

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	I P C	要約	ステータス
2007-233535 2007/09/10	グラフェンシート の製造方法	504145320 国立大学法人 福井大学	C01B 31/04 (20060101)	【課題】大面積のグラフェンシートを簡単に製造できる方法を提供する。【解決手段】耐熱性の作業基板を準備する工程と、グラフェンシートを構成する炭素の結晶構造と同様の結晶構造の炭素を含有するグラフェンシート形成面を、形成しようとするグラフェンシートの面積に応じた寸法で前記作業基板上の所定位置に位置決めする工程と、前記グラフェンシート形成面に、形成されたグラフェンシートの丸まりを阻止するCNT化阻止処理を施す工程と、前記グラフェンシート形成面を真空中又は所定のガス雰囲気中で加熱し、前記グラフェンシート形成面を構成する炭素以外の他の成分を除去する工程とを有し、前記加熱時間と前記加熱温度とを制御することで、前記グラフェンシート形成面に少なくとも一層のグラフェンシートを形成した。【選択図】図1	ステータス 権利継続中
2007-261188 2007/10/04	グラフェンシート の製造方法	504145320 国立大学法人 福井大学	C01B 31/04 (20060101)	【課題】幅や長さ、膜厚の調整が容易で、かつ、大面積のグラフェンシートを簡単に製造できる方法を提供する。【解決手段】触媒金属層を形成した基板上に炭素含有ガスを供給してグラフェンシートを形成するグラフェンシートの製造方法であって、所定の性質を有する基板を準備する工程と、この基板の少なくとも一面に、少なくとも一つのライン状の触媒金属層を位置決めして形成する工程と、前記触媒金属層を形成した前記基板を容器内に収容するとともに、所定環境下で前記基板を加熱する工程と、前記基板の少なくとも前記触媒金属層を形成した面に、炭素含有ガスを供給する工程とを有し、前記触媒金属層の基板からの高さを、形成しようとするグラフェンシートの膜厚及び層数に応じた高さとした。【選択図】図1	権利継続中
2007-289785 5417631	熱可塑性樹脂複合 材料成形品の成形 方法	福井県	B29C 43/52 B29C 43/18 B29C 43/36 B29K 101/12 B29K 105/06	【課題】本発明は、空隙がほとんどなく繊維分散性のよい熱可塑性樹脂複合材料成形品を短時間で成形反りを発生させることなく成形できる成形方法を提供することを目的とする。 【解決手段】補強繊維材料に熱可塑性樹脂材料が偏在する被成形材料を用いて、被成形材料に対する当接部において均一な厚さに形成された一対の成形型体の間に被成形材料を配置し、被成形材料の周囲から内部の気体が排気可能となるように被成形材料の両側から成形型体により挟持して圧接した状態に設定し、成形型体と密着するように当接面が形成された一対の加熱プレス型体の間に成形型体を設置し加熱・加圧処理し、成形型体と密着するように当接面が形成された一対の冷却プレス型体の間に成形型体を設置し冷却・加圧処理することで、補強繊維材料中に熱可塑性樹脂材料を含浸一体化させ成形する。 【選択図】図1 1	
2007-300002 5076053	熱可塑性樹脂多層 補強シート材及び その製造方法、並び に熱可塑性樹脂 多層補強成型品	福井県	B32B 27/12 B29C 43/18 B29C 43/20 B29K 101/12 B29K 105/08	【課題】本発明は、リサイクル性、耐衝撃特性に優れた熱可塑性樹脂をマトリックスとした力学的特性及びドレープ性に優れた熱可塑性樹脂多層補強シート材、及び当該熱可塑性樹脂多層補強シート材を効率よく製造するための方法、並びに当該熱可塑性樹脂多層補強シート材を用いて成型された高品質性と力学的特性が維持された熱可塑性樹脂多層補強成型品を提供する。 【解決手段】熱可塑性樹脂多層補強シート材1は、複数の補強繊維3fが所定方向に引き揃えられてシート状に形成された補強繊維シート材3及び当該補強繊維シート材3の片面に付着した熱可塑性樹脂シート材4により構成されている熱可塑性樹脂補強シート材2 1～2 4が積層して形成され、かつ、前記熱可塑性樹脂シート材4と同一材料である一体化用熱可塑性樹脂繊維束5によりステッチして縫合一体化されている。さらに、前記補強繊維シート材3の補強方向がそれぞれ多軸となるように積層されている。 【選択図】図1	

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	I P C	要約	ステータス
2008-030058 5223130	熱可塑性樹脂補強シート材及びその製造方法、並びに熱可塑性樹脂多層補強シート材	福井県	B32B 27/12 B29C 43/18 B29C 43/20 B29K 101/12 B29K 105/08	<p>【課題】本発明は、熱可塑性樹脂をマトリックスとした、高品質で、力学的特性及びドレープ性に優れた熱可塑性樹脂補強シート材、及びその製造方法、並びに当該熱可塑性樹脂補強シート材を用いて成型される高品質、ドレープ性が維持された熱可塑性樹脂多層補強シート材を提供する。</p> <p>【解決手段】熱可塑性樹脂補強シート材1は、複数の補強繊維2fがサイジング剤等により集束した補強繊維束2tを幅方向に複数本引き揃えシート状とした補強繊維シート材2の片面に、熱可塑性樹脂シート材3を、当該熱可塑性樹脂シート材の熔融温度より低い温度で熔融又は軟化する接着用熱可塑性樹脂材4によって付着させて構成される。そして、当該熱可塑性樹脂補強シート材を積層して、当該接着用熱可塑性樹脂材により各層の熱可塑性樹脂補強シート材を接着一体化させることにより熱可塑性樹脂多層補強シート材を得る。</p> <p>【選択図】図3</p>	
2008-080509 2008/03/26	マグネシウム合金用鋳型及びマグネシウム合金鋳造方法	503360115 独立行政法人 科学技術振興 機構, 504145320 国立大学法人 福井大学	B22D 21/04 (20060101), B22C 1/00 (20060101)	<p>【課題】鋳造装置の製造コスト及び加熱することによって生じるエネルギーコストを低減しつつマグネシウム合金溶湯の流動性を確保できるマグネシウム合金用鋳型及びその鋳型を利用したマグネシウム合金鋳造方法を提供すること【解決手段】マグネシウム合金用鋳型1は、型11が通気性のある素材で形成されており、通気性のある素材は、網体、複数の孔を有する板又は布のいずれか若しくはその組み合わせから構成されている。マグネシウム合金用鋳型1の型11が通気性のある素材で形成されていることによって、溶湯3とマグネシウム合金用鋳型1との間のみかけの熱伝導係数が小さくなる。みかけの熱伝導係数が小さくなることにより、溶湯3がマグネシウム合金用鋳型1に接触しても瞬時に固まることがなく溶湯3の流動性が確保される。【選択図】図1</p>	権利継続中
2008-111361	生分解性に優れた熱成形材料及びその製造方法、並びに熱成形体	学校法人金井 学園	C08L 101/00 C08L 1/00 C08L 101/16	<p>【課題】本発明は、生分解性及び熱成形に優れると共に、弾性率の改善された熱成形体を成形可能な熱成形材料を提供すると共に、該熱成形材料の製造方法及び該熱成形体を提供することをその課題とする。</p> <p>【解決手段】本発明の熱成形材料は、天然物質由来の含水酸基物質を基材とし、脂肪族ポリエステル鎖をグラフト鎖とする生分解性熱可塑性重合体(成分A)と、天然物質の粉末(成分B)との混合物からなり、該成分Bの割合が、該成分A100重量部当たり5~900重量部であることを特徴とする。</p> <p>【選択図】なし</p>	
2008-185490	バナジウム酸化物を含有する可逆性感湿材料、及びその製造方法	公益財団法人 若狭湾エネ ルギー研究セン ター	G01N 31/22 G01N 31/00 G01N 21/77	<p>【課題】明瞭な変色による視覚的な湿度指示機能に優れ、かつ、使用時において発色成分の揮散もなく、更には、吸湿と加熱脱水を繰り返しても再生不良が起こり難いバナジウム酸化物を含有する可逆性感湿材料およびその製造方法を提供すること。</p> <p>【解決手段】バナジウム酸化物を多孔質担体に担持させた可逆性感湿材料において、前記多孔質担体として非晶質シリカを使用すると共に、非晶質シリカの平均細孔径を6nm以下とする技術的手段を採用した。</p>	

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	I P C	要約	ステータス
2009-046130 2009/02/27	光脱炭酸反応を利用した重水素化合物の製造方法	504145320 国立大学法人 福井大学	C07C 269/06 (20060101), C07C 271/12 (20060101), C07C 271/22 (20060101), C07C 319/20 (20060101), C07C 323/25 (20060101), //C07B 59/00 (20060101), C07K 1/06 (20060101)	【課題】カルボン酸のカルボキシル基を重水素で置換することを含む、重水素化合物の製造方法であって、加熱や金属触媒を必要とすることなく、安価で、簡単に、そして良好な収率で、カルボン酸の重水素化された脱炭酸還元生成物を得ることができ、カルボン酸の脱炭酸還元生成物における重水素化率が高く、かつカルボン酸の特定の位置だけに選択的に重水素を導入することができる、重水素化合物の製造方法を提供すること。【解決手段】カルボン酸をフェナントレン、ジシアノベンゼン、チオール、および重水素源の共存下で光脱炭酸反応に供し、該カルボン酸のカルボキシル基を重水素で置換することを含む、重水素化合物の製造方法。【選択図】なし	権利継続中
2009-057219 2009/03/10	ターゲットの形成方法及びその装置	504145320 国立大学法人 福井大学	G21G 1/10 (20060101), G21K 5/08 (20060101), //G21G 1/12 (20060101)	【課題】基板上に高効率でターゲットを形成することができ、かつ、肉厚も均一で高品質な仕上がり面を得ることのできるターゲット形成方法を提供する。【解決手段】放射線の照射により放射性同位元素に変換される性質を有する金属のめっき液14中に基板12と電極15とを挿入し、電極15と基板12との間に電圧を印加することで基板12に金属のターゲットを形成するターゲット形成方法において、電極15及び基板12をめっき液14中に固定した状態で、基板12の近傍からめっき液14を吸引する工程と基板12に向けてめっき液14を吐出す工程とを繰り返しつつ、電極15と基板12との間に電圧を印加する。【選択図】図2	権利継続中
2009-067822 2009/03/19	高分子アクチュエータ	504145320 国立大学法人 福井大学	H02N 11/00 (20060101)	【課題】高分子化合物から成る電解質膜と、該高分子電解質膜の両面に形成される電極を有し、該電極間に電圧を印加することで上記高分子電解質膜を屈曲変形させることが出来るように機能する製作コストの安い高分子アクチュエータの提供。【解決手段】電極2a, 2bとし縦・横方向に複数の空隙6, 6・・を形成して伸縮性を備えたシートメタル3を使用し、該シートメタル3を加熱圧縮して上記高分子電解質膜1に接合した構造としている。【選択図】図1	権利継続中
2009-227346 5364908	織機部品の製造方法	福井県	C21D 9/46 C22C 38/00 C22C 38/18 D03C 9/04	【課題】本発明の目的は、未固溶の炭化クロムの残留量をできるだけ抑制して耐食性を向上させた耐食性ステンレス鋼の製造方法を提供することにある。 【解決手段】ステンレス鋼を熱だ圧延、焼純後冷間圧延する熱処理工程と、熱処理されたステンレス鋼を不活性ガス雰囲気中で950℃以上の温度で所定時間加熱後焼入して炭化クロム量を0.3重量%未満とする焼入処理工程と、焼入処理されたステンレス鋼を不活性ガス雰囲気中で450℃以下の温度で所定時間焼戻す焼戻処理工程とを備えている。 【選択図】なし	
2010-009098 2010/01/19	合金燃料製造装置	505374783 独立行政法人 日本原子力研究開発機構, 504145320 国立大学法人 福井大学	G21C 3/60 (20060101)	【課題】高蒸気圧性の放射性元素による装置内汚染を低減すると共に、当該元素の蒸発損失を抑制する合金燃料製造装置を提供する。【解決手段】本発明の合金燃料製造装置100は、超ウラン元素を含む合金原料を溶融する溶融部と、前記溶融部を収容する内筒部材120と、前記内筒部材120の鉛直上方を略閉塞するように配される天板部材150と、前記天板部材150及び前記内筒部材120を収容する外筒部材112と、からなることを特徴とする。【選択図】図1	権利継続中

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	I P C	要約	ステータス
2010-009099 2010/01/19	坩堝カバー及び合金燃料製造装置	505374783 独立行政法人 日本原子力研究開発機構, 504145320 国立大学法人 福井大学	G21F 9/02 (20060101), G21C 3/60 (20060101), F27B 14/12 (20060101)	【課題】高蒸気圧性の放射性元素による装置内汚染を低減すると共に、当該元素の蒸発損失を抑制する合金燃料製造装置に用いられる坩堝カバーを提供する。【解決手段】本発明の合金燃料製造装置は、超ウラン元素を含む合金原料を熔融する坩堝141の上部を覆い、高蒸気圧性元素の蒸発飛散を防止する坩堝カバー142であって、前記坩堝カバー142にはモールド挿通用の貫通孔143が設けられることを特徴とする。【選択図】図5	権利継続中
2010-029573 2010/02/13	水性蛍光塗料用蛍光材料およびその製造方法	504145320 国立大学法人 福井大学	C09K 11/08 (20060101), C09D 7/12 (20060101), C09D 5/22 (20060101)	【課題】廃棄物として処理されていた貝殻を原料として有効利用し、例えば、塗料などに好適に使用することができる蛍光材料およびその製造方法を提供すること。【解決手段】貝殻を焼成してなる貝殻の焼成粉末を水で抽出した抽出液を有効成分として含有する蛍光材料、および貝殻を焼成し、粉碎することによって得られた貝殻の焼成粉末を水中で分散させ、得られた分散液から当該貝殻の焼成粉末を除去することを特徴とする蛍光材料の製造方法。【選択図】図2	権利継続中
2010-033911 2010/02/18	高分子アクチュエーター及びその製造方法	504145320 国立大学法人 福井大学, 397022885 公益財団法人 若狭湾エネルギー研究センター	H02N 11/00 (20060101)	【課題】応答速度や屈曲量の向上だけでなく、ねじれのような複雑な動きや複合的な動きを可能にするとともに、これら動きの制御が容易な高分子アクチュエーターを提供する。【解決手段】イオン伝導性高分子膜(S1)の両面を導電性材料(Sa)で被覆したイオン伝導性高分子複合体を有する高分子アクチュエーター(2)であって、少なくとも一軸方向に延伸したイオン伝導性高分子膜(S1)を有するものとした。イオン伝導性高分子膜複合体(S1, Sa)の駆動面(P)を、前記イオン伝導性高分子膜(S1)の延伸軸と交叉する方向に設定してもよい。【選択図】図4	権利継続中
2010-073773 2010/03/26	表面改質された樹脂基材の製造方法	504145320 国立大学法人 福井大学	C08J 7/12 (20060101), C23C 18/22 (20060101)	【課題】ただ単にフッ素ガスまたはフッ素ガスと不活性ガスとの混合ガスで樹脂材料の表面を化学的に改質するだけでなく、その表面を物理的に改質することにより、めっき皮膜などとの密着性に優れた表面状態を有する樹脂基材を容易に製造することができる樹脂基材の製造方法を提供すること。【解決手段】樹脂基材をフッ素ガスと接触させ、当該樹脂基材の表面をフッ素化させた後、アルコールを当該フッ素化された樹脂基材の表面に接触させることを特徴とする表面改質された樹脂基材の製造方法。【選択図】図1	権利継続中
2010-073913 2010/03/27	フッ素化された二酸化チタン水溶液の製造方法	504145320 国立大学法人 福井大学	C01G 23/04 (20060101), C09D 7/12 (20060101), C09D 5/02 (20060101)	【課題】光触媒活性を有し、チタニアゾルやチタニアゲル、二酸化チタン微粒子の分散体などのように二酸化チタンが粒子状で存在しているのではなく、二酸化チタンそのものが溶解しているフッ素化された二酸化チタン水溶液およびその製造方法、当該フッ素化された二酸化チタンからなるフィルムおよび当該フッ素化された二酸化チタン水溶液が配合された水性塗料を提供すること。【解決手段】二酸化チタン粒子をフッ素ガスと接触させた後、得られたフッ素化された二酸化チタン粒子と過酸化水溶液とを混合することを特徴とする。【選択図】なし	権利継続中
2010-073914 2010/03/27	着色二酸化チタン粉末の製造方法	504145320 国立大学法人 福井大学	C01G 23/04 (20060101), B01J 35/02 (20060101), B01J 27/135 (20060101)	【課題】優れた光触媒活性を有し、光触媒としてのみならず、触媒活性を有する有彩色の顔料などとして好適に使用することができる着色二酸化チタン粉末を提供すること。【解決手段】二酸化チタン粒子をフッ素ガスと接触させた後、得られたフッ素化された二酸化チタン粒子と過酸化水溶液とを混合し、得られた混合物に含まれている固形分を乾燥させることを特徴とする着色二酸化チタン粉末の製造方法、および二酸化チタン粒子をフッ素ガスと接触させた後、得られたフッ素化された二酸化チタン粒子を150～800℃の温度で加熱することを特徴とする着色二酸化チタン粉末の製造方法。【選択図】なし	権利継続中

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	IPC	要約	ステータス
2010-234838 5135614	複合材料用ドリル並びにそれを用いた機械加工方法及び機械加工装置	福井県	B23B 51/00 B23B 51/08	<p>【課題】 繊維強化複合材料を少なくとも一部に含む被加工材の穿孔加工において、バリ及び層間剥離のほとんど発生しない高品質の穿孔加工を可能にする複合材料用ドリルを提供することを目的とする。</p> <p>【解決手段】 複合材料用ドリル1は、先端切れ刃5が形成された先端部と、先端部の後端側に接続して形成されるとともに先端側外径及び当該先端側外径よりも大径の後端側外径の径差でテーパ形状に形成されたテーパ部4と、テーパ部4の後端側に接続して形成されるとともにテーパ部4の後端側外径よりも大径の仕上げ加工が形成可能となるように全体が同径に形成されたストレート部3とを有し、テーパ部4の外周には、螺旋状にねじれた外周切れ刃7が形成されて連続的に穿孔径が大きくなるように設定されている。</p> <p>【選択図】 図1</p>	
2010-274776	バルク超伝導体の臨界電流密度制御方法、及びアンジュレータ用バルク超伝導体の製造方法	公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター	H01L 39/24 C01G 1/00 H01B 13/00	<p>【課題】 バルク体全体の臨界電流密度の向上および制御により疑似永久磁石等の性能を大幅に改善でき、また、現存の加速器により実施可能で、しかも、複数のバルク体の臨界電流密度のばらつきを抑制してアンジュレータの性能向上も図れるバルク超伝導体の臨界電流密度制御方法、及びアンジュレータ用バルク超伝導体の製造方法を提供すること。</p> <p>【解決手段】 バルク体の第二種超伝導体に対し、エネルギーが前記バルク体を透過可能な大きさで、かつ、柱状欠損の生成閾値よりも低い粒子ビームを照射して臨界電流密度の制御を行った。</p>	
2011-048415	金属メッキ材料の製造方法	公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター、福井大学	C23C 18/20 C23C 18/16	<p>【課題】 マスキングテープを必要とせず、フォトリソグラフィ法を利用した電極の製造方法よりも効率よく金属メッキ材料を製造することができる金属メッキ材料の製造方法を提供すること。</p> <p>【解決手段】 高分子材料を用いて金属メッキ材料を製造する方法であって、前記高分子材料として高分子電解質材料を用い、所定のパターンを有するマスクを介して当該高分子電解質材料の表面にイオン注入を行なった後、当該高分子電解質材料に無電解メッキを施すことを特徴とする金属メッキ材料の製造方法。</p>	権利継続中
2011-184294	保磁力に優れた鉄-白金系磁性合金の製造方法	関西電力㈱、日本原子力発電㈱、北陸電力㈱、公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター	H01F 1/04 H01F 10/14 H01F 41/20	<p>【課題】 高機能な永久磁石材料の製造方法であって、鉄-白金系合金の保磁力を増大させることができ、しかも、増大させる保磁力の大きさや増大させる部位についても容易に制御できる保磁力に優れた鉄-白金系磁性合金の製造方法を提供すること。</p> <p>【解決手段】 本発明では、鉄-白金系磁性合金の製造する際、熱処理を行う前に、鉄-白金系合金にNiイオンビームを照射して窒素原子を直接注入する工程を採用したことにより、従来の反応性スパッタ法よりも窒素元素の添加量を大幅に増やすことが可能となる。</p>	

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	I P C	要約	ステータス
2011-221420 2011/10/05	金属めっき皮膜を有するポリオレフィン系樹脂基材の製造方法	504145320 国立大学法人 福井大学	C23C 18/20 (20060101), C08J 7/00 (20060101), C23C 18/16 (20060101), B32B 15/085 (20060101)	【課題】ポリオレフィン系樹脂基材に対する密着性に優れた金属めっき皮膜を有するポリオレフィン系樹脂基材の製造方法、および金属めっき皮膜、接着剤などに対する密着性に優れた表面を有するポリオレフィン系樹脂基材の製造方法を提供すること。【解決手段】ポリオレフィン系樹脂基材に金属めっきを施すことによって金属めっき皮膜を有するポリオレフィン系樹脂基材を製造する方法であって、純度が70%以上のフッ素ガスを用い、0.1～3kPaの減圧下で当該フッ素ガスとポリオレフィン系樹脂基材とを接触させた後、当該ポリオレフィン系樹脂基材に金属めっきを施すことを特徴とする金属めっき皮膜を有するポリオレフィン系樹脂基材の製造方法。【選択図】図1	ステータス 権利継続中
2012-058387 5135616	熱可塑性樹脂多層補強シート材及びその製造方法、並びに熱可塑性樹脂多層補強成型品(分割)	福井県	B32B 27/12 B32B 5/00 B29C 70/10 B29C 43/18 B29K 101/12 B29K 105/08	【課題】リサイクル性、耐衝撃特性に優れた熱可塑性樹脂をマトリックスとした、高品質で、力学的特性及びドレープ性に優れた熱可塑性樹脂多層補強シート材、及び当該熱可塑性樹脂多層補強シート材を短時間で効率よく製造するための方法、並びに当該熱可塑性樹脂多層補強シート材を用いて成型された高品質な熱可塑性樹脂多層補強成型品を提供する。 【解決手段】熱可塑性樹脂補強シート材2は、複数の補強繊維3fが所定方向に引き揃えられてシート状に形成された補強繊維シート材3を熱可塑性樹脂シート材4の両面に付着させて構成されており、熱可塑性樹脂多層補強シート材は、熱可塑性樹脂補強シート材2が積層して形成され、かつ、熱可塑性樹脂シート材4と同一材料である一体化用熱可塑性樹脂繊維束によりステッチして縫合一体化されている。さらに、補強繊維シート材3の補強方向がそれぞれ多軸となるように積層されている。 【選択図】図3	
2012-150206 6085833	紙への無電解めっき方法	福井県	C23C 18/20 C23C 18/32 C23C 18/38 C23C 18/42	【課題】パラジウムや金、銀、白金などの高価な貴金属触媒を用いることなく、簡便な手段により紙基材との密着性に優れためっき被膜を形成させることができる新しい技術を提供する。 【解決手段】紙基材に対し、無電解めっき処理前にめっき金属と同一の金属イオンを含有する水溶液に浸漬して紙繊維の表面凹凸および内部に金属イオンを浸透させ、更に化学還元処理により金属核を担持させた後、無電解めっき処理を行う。紙繊維の表面凹凸および内部に金属核を形成することにより、密着性の良好なめっき被膜を得ることができる。 【選択図】なし	
2012-156049 5250898	熱可塑性樹脂補強シート材及びその製造方法、並びに熱可塑性樹脂多層補強シート材(分割)	福井県	B32B 27/12 B32B 5/00 B29C 43/30 B29C 43/34 B29K 101/12 B29K 105/08	【課題】熱可塑性樹脂をマトリックスとした、高品質で、力学的特性及びドレープ性に優れた熱可塑性樹脂補強シート材、及びその製造方法、並びに当該熱可塑性樹脂補強シート材を用いて成型される高品質、ドレープ性が維持された熱可塑性樹脂多層補強シート材を提供する。 【解決手段】熱可塑性樹脂補強シート材1は、複数の補強繊維2fがサイジング剤等により集束した補強繊維束2tを幅方向に複数本引き揃えシート状とした補強繊維シート材2と、補強繊維シート材に付着されたマトリックス樹脂となる熱可塑性樹脂シート材3と、熱可塑性樹脂シート材3の熔融温度より低い温度で熔融又は軟化する接着用熱可塑性樹脂材4とを備え、熱可塑性樹脂シート材3の両面に補強繊維シート材2を付着させて構成される。 【選択図】図2	

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	I P C	要約	ステータス
2012-199288 5352911	光走査装置および 光走査方法	福井県	G02B 26/10 B23K 26/08 B23K 26/06	<p>【課題】1つの光学部材の動作により光偏向角が容易に制御可能であり、しかも構造が簡便であり、制度低下の原因となるモータの発熱による光学部材の温度上昇が抑制可能となる光走査装置及び光走査方法を提供することを目的とする。</p> <p>【解決手段】光学部材11の動作により光を走査する光走査装置であって、光学部材11と揺動側磁性体12が一体になって形成している揺動体14と、揺動体14を揺動可能に保持する保持機構及び前記揺動体が基準位置からずれた場合に基準位置に復元する復元機構を有する保持手段10と、揺動体を揺動させる回動側磁性体21を有した動作手段20とを備えていることを特徴とする光走査装置およびそれを利用したレーザ加工装置。</p> <p>揺動体14の揺動運動を非接触で誘起し、それに基づき光の偏向角の制御を行うことができる光走査方法およびそれを利用したレーザ加工方法。</p> <p>【選択図】図2</p>	
2013-046279 5476590	複合材料用ドリル 並びにそれを用いた 機械加工方法及 び機械加工装置	福井県	B23B 51/00	<p>【課題】本発明は、穿孔加工時に切屑が盛り上がるように溶着固化することを抑制し、被加工材にバリや層間剥離を発生させずに穿孔加工可能な複合材料用ドリルを提供することを目的としている。</p> <p>【解決手段】複合材料用ドリル1は、先端切れ刃5が形成された先端部と、先端部の後端側に接続してテーパ形状に形成されたテーパ部4と、テーパ部4の後端側に接続してテーパ部4の後端側外径よりも同径以上の仕上げ加工径を形成する同径のストレート部3とを有し、テーパ部4の外周には、螺旋状にねじれた切屑排出溝6が形成されているとともに切屑排出溝6のストレート部3側の端縁に沿って外周切れ刃7が形成されて連続的に穿孔径が大きくなるように設定されている。</p> <p>【選択図】図1</p>	
2013-127969 2013/06/18	エネルギー変換用 繊維材料及びそれ を用いたアクチュ エータ	504145320 国立大学法人 福井大学	D01F 6/94 (20060101), H02N 10/00 (20060101), F03G 7/06 (20060101)	<p>【課題】本発明は、小型化に適したエネルギー変換用繊維材料及びそれを用いたアクチュエータを提供することを目的とする。【解決手段】溶媒に熱膨張係数100×10⁻⁶以上の高分子材料及び導電性材料を溶解させて高分子溶液を調製し、高分子溶液をシリンジ1に充填してノズル3から連続噴射させる。噴射された高分子溶液は、電圧印加装置5により帯電されて静電引力によりコレクタ4に吸引されることで、繊維径が10nm～10μmで繊維長が繊維径の10倍以上であって、熱膨張による繊維長方向の伸縮率が0.05%～1.5%であるエネルギー変換用繊維材料を得ることができる。【選択図】図1</p>	権利継続中
2013-155692 2013/07/26	脂質平面膜を形成 するための貫通孔 を有するガラス基 板、およびその製 造方法と用途	504145320 国立大学法人 福井大学	C03C 19/00 (20060101), G01N 33/68 (20060101)	<p>【課題】長時間安定で、高電位負荷に対する高い耐性を有し、かつ小面積の脂質平面膜を誰にでも確実に形成できる脂質平面膜形成用のガラス基板を提供する。</p> <p>【解決手段】ガラス基板1の一方の主面1aに、該面を覆う耐プラスト性のレジスト層2を設け、該レジスト層2には、ガラス基板素材に形成すべき貫通孔1hの位置に開口部2hが設けられ、ガラス基板1に対して、レジスト層2の上から投射材を吹き付けるショットプラストを行い、該ガラス基板1に対して該レジスト層2の開口部2hの位置に脂質平面膜形成用の貫通孔1hを形成し、かつ好ましくはショットプラスト工程よりも後に、該貫通孔1hの開口の周囲に対して高電圧パルス放電処理を施し、それにより、ショットプラストに起因して該貫通孔の開口の周囲に生じていたバリを除去し、バリを除去する工程よりも後に、ガラス基板1の該貫通孔1hの開口の周囲を疎水性材料で被覆する。【選択図】図1</p>	権利継続中

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	IPC	要約	ステータス
2014-002978 5617085	高圧铸造方法および高圧铸造装置	福井県	B22D 17/14 B22D 17/20 B22D 17/28 B22D 17/30	<p>【課題】融点が1000Kを超える高融点金属を安全かつ高品位に铸造できる高圧铸造方法および高圧铸造装置を提供する。</p> <p>【解決手段】カートリッジ式の溶解容器2内で铸込み材料1を溶解した後、铸込口ブッシュ13に取り付けたガイド14内を通るように前記溶解容器2を直線移動させて铸込口ブッシュ13に連通させるとともに前記溶解容器2をガイド14に対して密着させて冷却状態に設定し、所定の時間が経過した時点でプランジャー50をプランジャーチップ4に当接して溶湯と共に一気に前記铸込口ブッシュ13に移送し、前記铸込口ブッシュ13内で容器を加圧してキャビティ10へ射出充填する。</p> <p>【選択図】図1</p>	
2014-051241 5736560	積層成形体	福井県	B32B 5/28 C08J 5/04	<p>【課題】繊維補強複合材料であって、薄い繊維補強層の層間に薄い樹脂層を積層するとともに良好な強度特性を有する積層成形体の提供。</p> <p>【解決手段】積層成形体1は、マトリクスとなる熱硬化性樹脂材料中に補強繊維材料が分散している厚さ20～80μmの繊維補強層SR1～SRnを積層し、繊維補強層を積層した積層部分（例えば、上側のSR1及びSR1の積層部分）と、繊維補強層の層間に樹脂層を積層した積層部分（例えば、上側のSR2、TP1及びSR3の積層部分）とを含んでいる。</p> <p>【選択図】図1</p>	
2014-066118 5663776	吸引方法及び吸引装置並びにレーザー加工方法及びレーザー加工装置	福井県	B23K 26/16	<p>【課題】開いた系に設置された対象物表面を臨界圧力以下に減圧して吸引することができる吸引方法および吸引装置並びにこれらを用いたレーザー加工装置およびレーザー加工方法を提供することを目的とする。</p> <p>【解決手段】開いた系に設置された対象物31と吸引口2との間を所定の作動距離だけ離れた状態において、吸引口2と連通する減圧室1内部の圧力を吸引口2から吸い込む気体の速度が臨界状態となる臨界圧力以下となるように設定し、対象物31に向けて気体を噴出する噴出口3における気体の噴出速度が噴出口3から噴出する気体の音速で除した値であるマッハ数で0.2より大きくなるように設定し、噴出口3より気体を噴出するとともに吸引口2により気体を吸引して対象物31表面と吸引口2との間に吸引口2を囲むように旋回流を形成することで、吸引口2から対象物31表面までの前記旋回流の中心領域の圧力を臨界圧力以下に減圧して吸引する。</p> <p>【選択図】図1</p>	
2014-159405 5779827	ロール曲げ加工方法及び加工装置	福井県	B21D 5/14	<p>【課題】加工機の状態や被加工材の曲げ特性の変化により実際の加工形状が理論解（数値解析解）と差が生じる場合においても対応可能な、押込みロール位置の導出方法を提供する。</p> <p>【解決手段】ロールをピラミッド形に構成して、被加工材を連続的に送り出しながら押込みロールの操作量を変えることで、被加工材を曲げるロール曲げ方法において、固定した押込みロールの位置毎に、被加工材の曲率半径を計測して事前に曲げ特性を把握し、設計形状から、押込みロールを接触させるための操作量と曲率半径を求め、被加工材を曲率半径に曲げるために必要な接触状態からの追加の操作量を、事前に把握した曲げ特性から求め、接触させるための操作量と曲げるための操作量を合算することで、押込みロールの操作量を決定する。</p> <p>【選択図】図5</p>	

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	I P C	要約	ステータス
2014-257596 2014/12/19	グラフト化高分子 基材の製造方法	504145320 国立大学法人 福井大学	C08J 7/18 (20060101), C08F 283/02 (20060101), C08F 2/44 (20060101)	【課題】本発明は、ポリマーラジカル生成効率の低い高分子基材に対しても効率よくグラフト重合することができるグラフト化高分子基材の製造方法を提供するものである。【解決手段】本発明に係る製造方法は、所定の厚さの高分子フィルムからなる包装袋内に高分子基材を収容した後内部を減圧して封止することで包装袋を高分子基材に密着した密封状態に設定する密封工程と、包装袋を密着した密封状態に設定された高分子基材に対して放射線を照射する照射工程と、包装袋を開封して水を含むラジカル重合性化合物溶液を所定量注入した後内部を減圧して封止することでラジカル重合性化合物溶液を充填した密封状態に設定する注入工程と、ラジカル重合性化合物溶液を充填した密封状態に設定された高分子基材を所定温度で所定時間グラフト重合を行う後重合工程とを備えている。【選択図】なし	出願審査中
2015-044176 2015/03/06	コンポジット型可 溶化ナノリポソ ム及びその製造方 法	504145320 国立大学法人 福井大学	B01J 13/06 (20060101), A61K 9/127 (20060101), A61K 8/14 (20060101), A61K 47/24 (20060101), A61K 47/34 (20060101), A61K 47/28 (20060101), A61K 8/55 (20060101), A23L 5/00 (20160101)	【課題】安全性や安定性の高い、平均粒子径が18~25nmのリポソムを提供し、さらには当該リポソムの容易かつ簡便な製造方法を提供する。【解決手段】第1工程で、リン脂質の可溶化ナノベシクルエマルジョン(A)を調製し、第2工程で油性成分の可溶化ナノエマルジョン(B)を調製し、第3工程で(A)と(B)を混合して均質化する工程を含む製造方法による。本発明のコンポジット型可溶化ナノリポソムの製造方法は、有機溶媒を使用する必要がなく、特別な乳化装置や整粒装置も要さず、コスト的・工業的に優れた汎用的な製造技術方法である。特に有機溶媒を使用しない点から、安全性に優れたリポソムといえることができる。【選択図】図2	出願審査中
2015-116332 2015/06/09	光学活性アミノ ニトリル化合物の製 造方法	504145320 国立大学法人 福井大学	C07C 253/00 (20060101), C07C 253/34 (20060101), C07C 255/42 (20060101), C07B 53/00 (20060101), C07C 227/26 (20060101), C07C 227/32 (20060101), //C07B 61/00 (20060101)	【課題】光学活性アミノ酸等を製造するのに好適な光学活性アミノニトリル化合物の製造方法を提供する【解決手段】ベンズヒドリルアミン等の第1級アミン化合物、パラトルアルデヒド等のアルデヒド化合物およびシアン化水素またはその塩を塩基(DBU等)の存在下に溶媒中で反応させて、鏡像体過剰率が絶対配置におけるS体およびR体のいずれか一方に偏ったアミノニトリル化合物を析出させる。得られた光学活性アミノニトリル化合物を加水分解すると光学活性なアミノ酸が得られる。【選択図】図1	出願審査中

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	I P C	要約	ステータス
2016-028189 2016/02/17	光学活性アミノニトリル化合物の製造方法および光学活性アミノ酸の製造方法	504145320 国立大学法人 福井大学	C07C 253/08 (20060101), C07C 253/34 (20060101), C07C 227/26 (20060101), C07C 227/34 (20060101), C07C 229/36 (20060101), C07C 255/42 (20060101), C07D 307/54 (20060101), //C07B 57/00 (20060101)	【課題】光学活性アミノ酸を製造するのに好適な高純度の光学活性アミノニトリル化合物を製造する方法、および光学活性アミノ酸を製造する方法を提供する。 【解決手段】光学活性第1級アミン化合物と、カルボニル化合物とを溶媒中で縮合させて、光学活性イミン化合物を得、このイミン化合物にシアン化水素またはその塩を溶媒中で付加させて、光学活性アミノニトリル化合物の結晶を析出させ、そのジアステレオマー比率を著しく向上させる不斉増幅を実施する。得られた高光学純度のアミノニトリル化合物は、既知の酸加水分解によって光学活性アミノ酸へと光学純度を損なうことなく変換する。【選択図】図1	出願審査中
2016-065093 2016/03/29	ローラバニシング加工方法	504145320 国立大学法人 福井大学	B24B 39/04 (20060101)	【課題】本発明は、被加工物の対象面にローラを押し当てた状態で能動的に回転させることでローラによる摺動作用の方向を対象面の性状に合わせて制御することができるローラバニシング加工方法を提供することを目的とする。【解決手段】本発明では、被加工物である棒状体Wの対象面と当接する加工位置における周速度Vwの方向に対して加工ローラRの周速度Vrの方向が傾斜角度θで傾斜するように両者の回転中心軸を設定し、周速度Vwに対して周速度Vrが速度差を有するように加工ローラRを回転制御して棒状体Wと加工ローラRとの間に生じる摺動作用の方向を制御することで表面処理を行うようにしている。【選択図】図1	出願審査中
5070377	光拡散シート、光拡散シートを備えたスクリーンシート、及び映像システム	福井県	G02B 5/02 D03D 1/00 D03D 15/00 G03B 21/62 G09G 3/12	【課題】高い光透過性を維持すると共に、視野角が広く、しかも、モアレのない鮮明な画像を得ることが可能な光拡散シートを提供する。 【解決手段】たて糸12とよこ糸11とが織り込まれた織物で構成される光拡散シート10であって、光透過性のある円もしくは擬似円断面形状の第1の繊維をよこ糸11として使用し、第2の繊維をたて糸12として使用し、よこ糸11が互いに平行で、屈曲なく、且つ略密接して配列された織組織構造を備えている。光拡散シート10は、よこ糸の繊維軸方向が映像装置の表示面の垂直方向又は水平方向に沿うように設置される。若しくは、よこ糸の繊維軸方向が映像装置の表示面の垂直方向及び水平方向の両方向に沿うように2枚積層して設置される。 【選択図】図1	

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	IPC	要約	ステータス
1998-098101 1998/03/27	自動告知鈴発生装置	504145320 国立大学法人 福井大学	G04F 3/00 (20060101), G09G 5/00 (20060101)	(57)【要約】【課題】 研究発表会において、従来から人的作業で行われていた、発表番号札の掲示作業、並びに、発表者ごとにストップウォッチで発表経過時間を計測し、所定の各告知鈴を発生する作業を自動化し、省力化を図る。 【解決手段】 この装置は、一枚のプリント基板1に、発光ダイオード2を用いた電光表示器とデジタル集積回路素子3による電子回路で構成し、研究発表会会場の見やすい場所に設置することにより、会場参加者及び発表者に告知する。発表者が発表を開始した時に、赤外線リモコンのスタートボタンを押す操作で、自動的に、現在の発表番号を電光表示し、発表経過時間の電光表示と計測も開始する。その後は、研究発表会開始前に予め設定しておく、予鈴時間設定器4、発表時間終了鈴時間設定器5、質問時間終了鈴時間設定器6の各告知鈴設定時間と発表経過時間が一致した時に、自動的にスピーカ7から告知鈴が発生するように電子回路で構成している	権利継続中
2004-217916 2004/07/26	通信装置、および、通信方法	504145320 国立大学法人 福井大学	H04L 12/28 (20060101)	【課題】 アナログデータに基づいたデータ送信が可能であって、通信システムの構成を簡素化可能な通信装置を得る。【解決手段】 LANに通信可能に接続されると共に、アナログデータをデジタルデータに変換するA/D変換部12と、A/D変換部12で変換されたデジタルデータを、物理層とデータリンク層とに対応する通信プロトコルのみを用いて、LANに接続される他の通信装置に送信する送信制御部30とを備える。【選択図】 図1	権利継続中
2005-096400 2005/03/29	情報処理システム及びそのプログラム	504145320 国立大学法人 福井大学	H04L 9/32 (20060101)	【課題】 本発明は、互いに信用できない主体間において個別情報として特定されないように情報を送受信・処理・記録することができる情報処理システムを提供することを目的とするものである。【解決手段】 クライアント装置2の利用者のIDを含む複数のIDを発生させて管理サーバ1に送信し、複数のIDに対応するパスワードを管理サーバ1で抽出するとともに暗号キーを発生させ、抽出されたパスワードを暗号キーrとの排他的論理和xを計算して暗号化処理し、暗号キーKを発生させて暗号キーrを暗号化し暗号キーKとともにクライアント装置2に送信する。クライアント装置2では、利用者のパスワードと排他的論理和xとの排他的論理和を計算し暗号キーを復号化する。復号化した暗号キーを暗号キーKで暗号化して暗号キーrの暗号化情報と比較して管理サーバ1の正当性を判定する。一致した場合には復号化した暗号キーを管理サーバ1に送信してクライアント装置2の正当性を判定する。【選択図】 図2	権利継続中
2006-096692 2006/03/31	サービス取引システム及びそのプログラム	504145320 国立大学法人 福井大学	H04L 9/32 (20060101), G06Q 30/00 (20060101)	【課題】 本発明は、サービス利用者が個々の取引を自分自身と関連付けられることなくサービス依頼することができるとともにサービス提供者がサービス利用者の利用料金の適正な総額を確実に算定することができるサービス取引システムを提供することを目的とするものである。【解決手段】 サービス提供装置1において生成した取引識別情報をサービス利用装置2で取得し、サービス取引ごとにサービス提供装置1に送信して署名処理したものを次回のサービス取引に使用することで、サービス利用装置2の取引権限をチェックする。また、サービス利用装置2で今回及び次回の取引識別情報に基づいて生成した確認情報を送信してサービス提供装置1で一次結合データを生成し、一次結合データをサービス利用装置2に登録する。サービス取引ごとの一次結合データを集計して利用料金の合計額を算出すると共に確認情報に基づいて集計の際の不正操作を判定する。【選択図】 図7	権利継続中
2009-041176 2009/02/24	データベース装置、データベースの管理方法、データベースのデータ構造、データベースの管理プログラムおよびそれを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体	504145320 国立大学法人 福井大学	G06F 12/00 (20060101), G06F 17/30 (20060101)	【課題】 タップルの追加と高速検索が可能であり、ディスクスペースを効率良く使用する。【解決手段】 データベース装置1は、各属性値から拡張可能配列の添字に変換するためのCVT11と、タップルに対応する拡張可能配列の要素が属する部分配列の経歴値及びタップルの各属性値に対応する拡張可能配列の各添字のビットパターンを属性順に並べた座標パターンの2項組表現をキー値として登録したRDT12と、属性毎の配列拡張の時間的順序を表す経歴値を登録した属性毎経歴値テーブル21と、経歴値に対応する配列拡張した属性の次元、及び、当該経歴値に対応する拡張部分配列の任意の要素について、属性毎に拡張可能配列における対応次元の添字の表現に要するビット数を要素とする境界ベクトルを登録した経歴値テーブル22と、拡張可能配列の添字毎に対応する属性値及び該属性値を持つ全てのタップル数を登録した属性値テーブル23とを格納している。【選択図】 図1	権利継続中

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	IPC	要約	ステータス
2010-97816	物体の存在領域の検知方法および物体検知システム並びに無線送受信集合装置	公益財団法人 若狭湾エネルギー研究センター、福井県、(株)FACE、志水英二	G06K 17/00 G06K 19/07 G06K 19/077 G06K 19/00	【課題】簡単な構成で物体の存在領域を検知すること。 【解決手段】電磁波の送受信が可能であり自らの識別情報を送信することが可能なRFタグ12を、RFタグ12よりも大きく電磁波を透過させない遮蔽部材を用いた支持部材11の表面または周囲に配置または埋め込むことによってRFタグによる送受信の指向性を限定しておき、RFタグ12を互いの指向性が異なるように複数配置し、RFタグ12との間で送受信が可能な無線検知装置7を物体BTとともに移動させ、無線検知装置7によって受信されたRFタグ12の識別情報に基づいて、複数のRFタグ12の指向性によって識別される複数の識別可能領域ES1、2のうちのいずれの識別可能領域ESに物体が存在するかを検知する。	ステータス
2011-206072 2011/09/21	分析システム、分析方法及び分析プログラム	504145320 国立大学法人 福井大学	A63F 13/67 (20140101)	【課題】情報処理装置の操作者に関する分析の精度を向上させること。【解決手段】ゲーム装置の操作者がゲームを操作した際のゲームの進行に関する履歴情報を記憶している履歴情報記憶装置と、履歴情報に基づいて得られる評価用情報と、評価用情報に対して予め定められている評価結果とを対応付けて記憶している評価情報記憶装置と、を備え、履歴情報記憶装置から履歴情報を読み出し、履歴情報に基づいて評価用情報を取得し、評価情報記憶装置において取得した評価用情報に対応付けられている評価結果を取得し、評価結果を出力する。【選択図】図1	権利継続中
2012-206395 2012/09/19	演算回路設定方法	504145320 国立大学法人 福井大学	H03M 13/19 (20060101)	【課題】本発明は、並列処理を行う上で必要となる最小限のXOR演算回数により演算処理を行うことができる符号化・復号化装置を提供することを目的とする。【解決手段】符号化・復号化処理部10は、所定の規則性を有する検査行列に基づいて入力データに対応するハミング符号の符号語を生成する符号化処理を行うとともに検査行列に基づいてハミング符号の受信語のエラー位置を検出する復号化処理を行い、ハミング符号が符号長 $2m-1$ 及び情報ビット数 $2m-m-1$ の2元ハミング符号である場合に、XOR演算回数を $(2m+1-2m-2)$ 回処理して復号化処理する演算回路を備えている。【選択図】図1	権利継続中

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	I P C	要約	ステータス
1997-339113 3049225	開織シートの製造方法、および開織シート製造装置	福井県	D04H 3/04 D02J 1/18 D04H 3/12	<p>【課題】 サイジング剤による構成フィラメントの集束結合が強力であっても、繊維束の構成フィラメントを幅方向へ無理なく迅速、かつ、確実に展舒して形態的に安定した高品質の開織シートを量産できる方法と装置を提供すること。</p> <p>【解決手段】 サイジング剤を帯熱柔軟化させ、その状態で当該繊維束を所要のオーバーフィード量に保ちながら交差方向に気流を通過させて構成フィラメントを幅方向へ解き分けるとともに、強制放熱しサイジング剤を硬化させて繊維束をシート形態にセットする加工処理、およびこれらの処理を可能にする機構手段を採用した。</p>	
1999-376286 3293031	フィルムシール方式によるグラフトか繊維の製造法	福井県	D06M 14/18 C08J 5/04 D06M 15/263	<p>【課題】 本発明は各種繊維材料に、ラジカル重合性化合物を均一かつ繊維フィラメント内部までグラフト重合させるための電子線を用いたグラフト化繊維の製造法を提供するものである。</p> <p>【解決手段】 ラジカル重合性化合物の繊維への含浸が不十分な溶液系においても、繊維とラジカル重合性化合物をフィルムで被覆シールし、電子線を照射した後、さらに加熱重合するという一連の処理で、繊維内部までグラフトされ、均一で、かつ高いグラフト率を有する繊維を容易に製造することができる。</p>	
2000-313093 3398133	開織シートの製造装置及び方法	福井県	D02J 1/18	<p>【課題】 開織能力において優れると共に、開織を多段、もしくは多数の繊維束を対象として行う場合にあって、必要となる動力が少ない開織シートの製造装置もしくは製造方法を得る。</p> <p>【解決手段】 開織部17に、繊維束2をオーバーフィード状態で供給し、この繊維束2の流送方向に交差させて、液体流を当てて開織を行う。</p>	
2000-367037 3382603	拡織装置	福井県	D02J 1/18	<p>【課題】 液中で超音波を繊維束2に当てて拡織を行う拡織装置において、繊維束2を液外に導出した状態で良好な拡織状態を維持しやすい拡織装置を得る。</p> <p>【解決手段】 拡織済みの繊維束2を前記液中から液外へ導出する際に、繊維束2の拡織状態を維持する拡織状態維持手段100aを備え、繊維束2から液を除去する除去手段10aを備える。</p>	
2001-025497 3382607	拡織システム	福井県	D02J 1/18	<p>【課題】 多様な拡織対象に対して、比較的高い拡織を安定して行なうことができる拡織システムを得る。</p> <p>【解決手段】 繊維束が張力を付与された状態で、複数のローラ19に対して各ローラ表面に接触しながら屈曲経路を成して流送される繊維束流送部を液中に備え、この液中に超音波を伝播させて拡織する超音波式拡織装置を予備拡織装置4とし、予備拡織済み繊維束を拡織する拡織部に、前記予備拡織済み繊維束をオーバーフィード制御しながら流送供給し、流送されてくる予備拡織済み繊維束に流体流を当てて解き分ける流体流式拡織装置6を本改選装置とする。</p>	
2003-193893 4025820	開織繊維シートの製造方法、および開織繊維シートの製造装置	福井県	D04H 3/04	<p>【課題】 次の技術的課題を解決できる方法と装置を提供する。 1. 繊維が平行・均一な密度の開織繊維シートを製造する。 2. 開織繊維シートに熱可塑性樹脂が一様に含浸させるプリプレグシートを効率的に製造する。</p> <p>【解決手段】 シート状に流送される開織繊維束群の全幅を、交差方向へ断続的に局部押圧し、かつ、幅方向に沿って直線的に進退摩擦して開織繊維シートを製造する。また、開織繊維シートに同幅の熱可塑性樹脂シートを帯熱熔融状態で会合させて全的に含浸させる。</p> <p>【選択図】 図6</p>	
2003-422572 4273187	テープ状繊維束を用いた混織繊維束の製造方法およびその製造装置	福井県	D02G 3/04	<p>【課題】 複数本の繊維束が連続して均一に混じり合い、丸断面形態またはテープ状態をした混織繊維束について製造することができる方法、およびそのための製造装置について提供する。</p> <p>【解決手段】 複数本のテープ状態にある繊維束を用いて、当該複数本のテープ状繊維束を重ね合わせた後加熱を行う方法、当該複数本のテープ状繊維束を重ね合わせて開織した後加熱を行う方法、当該複数本のテープ状繊維束を重ね折りして開織する方法、そして、当該複数本のテープ状繊維束を重ね折りして開織した後加熱を行う方法などを用いて混織を行うことにより、複数本の繊維束が単繊維レベルで均一に混織した、丸断面形態の混織繊維束またはテープ状態の混織繊維束を得る。</p> <p>【選択図】 図14</p>	

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	IPC	要約	ステータス
2005-240569 2005/08/23	高分子繊維材料のメッキ前処理方法、メッキ方法及び被膜形成方法並びに導電性繊維材料の製造方法	504145320 国立大学法人 福井大学	C23C 18/30 (20060101), D06M 11/83 (20060101), D06M 23/00 (20060101), //D06M 101/16 (20060101), D06M 101/36 (20060101)	【課題】本発明は、超臨界流体又は亜臨界流体を用いることで従来のエッチング処理が不要になるとともに簡略化された工程でメッキ用金属触媒を高分子繊維材料に付与することができるメッキ前処理方法及びメッキ方法を提供することを目的とするものである。【解決手段】反応室30内に高分子繊維材料Mを配置し、供給室31内に有機金属錯体を投入する。高圧ポンプ1からシリンジポンプ2に液体二酸化炭素が供給されて所定圧力に昇圧されて超臨界状態となった二酸化炭素が反応器3に導入されると、供給室31内で超臨界流体と有機金属錯体とが混合して反応室30に流下し、攪拌装置33により攪拌されて有機金属錯体が溶解しながら超臨界流体とともに高分子繊維材料に含浸する。反応器3に設けられたヒータ32により反応室30内の温度を還元温度に設定することで、含浸した有機金属錯体が還元されて材料表面にメッキ用金属触媒が析出するようになる。 【選択図】図1	権利継続中
2005-308393 4332606	繊維束の引き出し方法及び繊維束引き出し装置	福井県	B65H 57/14 B65H 57/04	【課題】ポピンから引き出された繊維束を、幅方向折れ曲がりおよびねじれを生じさせることなく繊維束幅を安定させて、所定の引き出し方向に収束させる繊維束の引き出し方法及び装置について提供する。 【解決手段】ポピンから繊維束の走行経路の下流に向かい、凹状に湾曲形成された案内面を複数、案内面の曲率半径が小さくなる順に、ある所要の間隔をもって配置し、ポピンから引き出された繊維束を案内面に順に接触させながら走行させることにより、ポピンから引き出された繊維束を幅方向折れ曲がりおよびねじれを生じさせることなく繊維束幅を安定させながら走行させ、繊維束の走行方向を所定の引き出し方向に収束させる。 【選択図】図2	
2006-518512 4740131	繊維束の開織方法と、その方法に使用する装置	福井県	D02J 1/18	【課題】本発明は、任意本数の高強度繊維束を一挙に高速かつ簡便に開織を行うことができ、しかも構成繊維が幅方向へ平行かつ一様な密度に整列した状態の高品質な開織繊維束や開織シートを高効率に製造できる合理的な繊維束の開織方法と、その方法に使用する開織装置を提供することを目的とする。 【解決手段】本発明は、給糸体又は給糸クリールから繊維束を送り出す一方、この繊維束に緊張と弛緩との張力変化を交互に連続させ、こうして張力変化を伴いながら移動する繊維束を、その移動進路に沿って数珠繋ぎに配設された流体流通部から成る流体流通開織機構に架線状態で順々に移動させ、これらの流体流通部を移動する際に前記繊維束が流体との接触抵抗によって流体通過方向へ撓曲され、かつ、当該接触抵抗を受けて繊維束が弛められて形成された当該繊維束の間隙に流体を通過させて開織作用を履歴させ、張力変化と流体通過との相互作用によって繊維束を拡幅開織させて目的を達成するものである。 【選択図】図1	
2007-047942 5103652	携帯バッグ	福井県	A45C 7/00	【課題】本発明は、未使用時には折り畳んでコンパクト化できる携帯バッグに関し、簡単かつ迅速に折り畳むことができ、また、バッグの一部を利用して折り畳んだ状態を維持できる携帯バッグを提供する。 【解決手段】布地を重ね合わせて形成されたバッグ本体1と、バッグ本体1の前面部と背面部の開口辺部から上方に相対するように一定巾をもって突出させた持ち手体5aおよび5bから成り、バッグ本体1および持ち手体5aおよび5bにはプリーツ加工が一樣に施され、持ち手体5aおよび5bがジグザグに折り畳まれたバッグ本体1を収納可能な形状を有し、収納した状態を維持する留め具を備えた携帯バッグであること。 【選択図】図2	
2008-153594 2008/06/11	紡糸方法並びにそれを用いた繊維製造方法及び装置	504145320 国立大学法人 福井大学	D01D 5/08 (20060101), D01F 6/00 (20060101), D04H 1/728 (20120101), D04H 1/736 (20120101), D04H 1/43 (20120101)	【課題】レーザー光を熱可塑性樹脂に効率良く照射し、溶融させて繊維を効率よく製造できる紡糸方法を提供する。【解決手段】レーザービーム発生装置1から射出されたレーザービームに基づいて光学系2によりライン状のレーザー光を生成する。そして、生成されたライン状のレーザー光を所定の照射ラインに沿って照射し、熱可塑性樹脂材料からなる素材9を照射ラインを横切るように供給ローラ10により移動させながら照射ラインで素材9を連続して加熱溶融する。素材9を電極部5において高電圧を印加して帯電させることで、加熱溶融された素材9の溶融部位を帯電させ、帯電による静電力により多数の針状突出部を溶融部位に生成して針状突出部より繊維をコレクタ8に向かって紡出させる。【選択図】図1	権利継続中

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	I P C	要約	ステータス
2009-124860 5326170	繊維束の開織方法及び開織糸シート並びに繊維補強シートの製造方法	福井県	D02J 1/18 C08J 5/06	<p>【課題】本発明は、集束本数が増加した繊維束に対して繊維を均一に分散させて開織幅が広く厚みが均一で薄い開織糸シートを形成することができる開織方法を提供することを目的とするものである。</p> <p>【解決手段】繊維束の繊維が幅方向に移動可能に設定された可動領域M内に、繊維束中に流体を通過させることで繊維を撓ませながら幅方向に移動させて開織幅Wi (i=1, ..., n) に開織する開織領域Ai及び前記開織領域Aiに対応して搬送方向上流側に設定されるとともに開織領域Aiの繊維の幅方向の移動に伴って繊維束の幅が末広がりになる拡張領域Biからなる対領域群Siを配列していることで、開織領域Aiで生じる繊維束の繊維の分散による幅方向の移動現象を上流側の拡張領域Biに及ぼして繊維の予備開織を行うことで繊維を開織領域Aiで均一に分散させて開織幅を所定幅に拡大して厚みを均一化することができる。</p> <p>【選択図】図1</p>	
2009-150971 4813581	繊維束の開織方法とその方法に使用する装置(分割)	福井県	D02J 1/18	<p>【課題】繊維束を一挙に高速かつ簡便に開織を行うことができ、しかも構成繊維が幅方向へ平行かつ一様な密度に整列した状態の高品質な開織繊維束や開織糸シートを高効率に製造できる繊維束の開織方法及び、その開織装置を提供する。</p> <p>【解決手段】給糸体11から送り出されてくる繊維束Tmを、その移動方向とは交差する方向へ局部的に屈伸させることにより、移動過程にある当該繊維束の張力を緊張・弛緩・緊張・・・と交互に反復的に変化させ、こうして張力変化を伴いながら移動する繊維束を、流体流通部31aへ架線状態で移動させ、前記繊維束を流体流通部31aで流体と接触させて流体通過方向へ撓曲させ、その際生じた繊維束の間隙に当該流体を通過させて繊維同士の間隔を幅方向に広げる繊維束の開織方法。</p> <p>【選択図】図1</p>	
2009-185426 5548868	アンテナ用布帛	福井県	H01Q 1/38 D03D 1/00 D03D 15/02 D03D 15/00 D02G 3/04 D02G 3/12 D02G 3/38	<p>【課題】本発明は、通常の生地と同様に薄地で柔軟性及び伸縮性を有するアンテナ用布帛を提供することを目的とするものである。</p> <p>【解決手段】アンテナ用布帛は、比誘電率が4以下の繊維材料からなる地組織1と、芯糸に金属繊維をカバーリング加工した抵抗が5Ω/m～15Ω/mの導電糸からなるとともに地組織1に密着させるように保持されたアンテナ線2とを備えている。地組織1は、経糸及び緯糸を二重織により織成した織物からなり、アンテナ線2は、上面側の織地に緯糸とともに配列されて交差する経糸により上下から挟持されるように密着保持されている。</p> <p>【選択図】図1</p>	
2009-224962 5352795	e-テキスタイル用導電糸およびそれをを用いた織編物	福井県	D03D 15/00 D02G 3/38 D02G 3/04 D02G 3/12	<p>【課題】一般的な織物製織工程で製織可能な物性でかつ電気抵抗が50Ω/m以下の特性を有する導電糸であり、さらにこの誘電糸を配線等に使用して構成するe-テキスタイルが変形時も電気特性を維持できる導電糸を提供する。</p> <p>【解決手段】e-テキスタイル用導電糸を使用する織物の主構成繊維素材と同等の物性を有する繊維素材で芯部を構成し、その繊維素材のまわりを複数の導電性繊維素材を用いて1m間に3,000回以上の巻き数でかつ、その表面積の50%以上を導電性繊維が被うように螺旋状に巻き付けることで電気抵抗が50Ω/m以下であるe-テキスタイル用導電糸を提供する。</p> <p>【選択図】図1</p>	
2012-055351 5994077	複合糸及びそれをを用いた布帛並びに複合糸の製造方法	福井県	D02G 3/38 D03D 15/00	<p>【課題】電子部品等の物品を担持するとともに、柔軟性、耐伸縮性及び耐屈曲性に優れた複合糸を提供する。</p> <p>【解決手段】複合糸は、繊維材料からなる糸本体1、担持される小型の物品である電子部品2、電子部品2の両側に取り付けられた一対の支持体3、及び、糸本体1の周囲に巻き付けられた保持糸4を備えている。糸本体1には、電子部品2と電氣的に接続する導電性パターン5が電子部品2の両側に形成されている。電子部品2は、導電性パターン5の間に接着固定されており、支持体3は導電性パターン5に螺旋状に巻き付けられて接着固定されている。そして、保持糸4は、電子部品2の少なくとも一部を覆うようにダブルカバーリング加工等により巻き付けられている。</p> <p>【選択図】図1</p>	

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	IPC	要約	ステータス
2013-039080 2013/02/28	導電性セルロース系繊維材料の製造方法	504145320 国立大学法人 福井大学	D06M 11/53 (20060101), D06M 11/38 (20060101), D06M 23/00 (20060101), H05B 3/12 (20060101), H05B 3/10 (20060101), //D06M 101/06 (20060101)	【課題】本発明は、セルロース系繊維材料に導電性を付与して耐久性を有する導電性セルロース系繊維材料を製造することのできる製造方法を提供することを目的とする。【解決手段】本発明に係る導電性セルロース系繊維材料の製造方法は、アルカリ金属水酸化物を含む水溶液によりセルロース系繊維材料を膨潤させる膨潤工程と、銅イオンを含む化合物を溶解させた水溶液によりセルロース系繊維材料の外周部及び内部に銅イオンを含浸させる含浸工程と、セルロース系繊維材料に含浸させた銅イオンを硫化物イオンを含む化合物を溶解させた水溶液により硫化還元させてセルロース系繊維材料の外周部及び内部に硫化銅からなる微粒子を生成させる硫化還元工程とを含む。【選択図】図1	権利継続中
2013-066471 6216944	導電性繊維およびその製造方法並びにそれをを用いた燃料電池用セパレータ	福井県	D03D 1/00 H01M 8/02 H01M 8/10 D03D 15/00 D03D 15/02 B32B 27/12 D02G 3/06	【課題】厚み方向に優れた導電性を有する導電性繊維及びその製造方法、並びに導電性繊維を用いた導電性と成形性に優れた燃料電池用セパレータを提供する。【解決手段】熱可塑性樹脂材料からなる基体2の両面に、所定方向に引き揃えた複数の繊維3を層状に付着させて形成されるとともに、両面の露出している当該繊維の表面に導電性被膜4を形成している導電性テープ材を少なくとも一部に用いて、互いの導電性被膜が接触するように製織されていることを特徴とする。【選択図】図1	
2013-164723 2013/08/08	導電性ナノファイバーの製造方法	504145320 国立大学法人 福井大学	H01B 13/00 (20060101), D06M 11/83 (20060101), D01D 5/04 (20060101), D01F 6/12 (20060101), D01F 6/32 (20060101), //D06M 101/18 (20060101)	【課題】高分子樹脂のナノファイバーを基材として柔軟性があり、導電性に優れるうえコストも安く、かつ、十分に均一な導電性を有し導電層の剥離もしにくい導電性ナノファイバーの製造方法を提供する。【解決手段】イオン伝導性ポリマーをナノファイバー化し、ナノファイバー化した前記イオン伝導性ポリマーの繊維を金属溶液に浸して金属イオンを前記繊維に浸潤させた後、カチオン置換又はアニオン置換による無電解メッキにより繊維内部の金属を析出させて導電層を繊維表面に形成するようにした。前記イオン伝導性ポリマーはパーフルオロカーボンスルホン酸ポリマーであるとしてよく、エレクトロスピンニング法によって前記イオン伝導性ポリマーをナノファイバー化するようにしてもよい。【選択図】図1	権利継続中
2014-008110 2014/01/20	ゲル繊維およびその不織布	504145320 国立大学法人 福井大学	D01F 6/14 (20060101), D04H 1/42 (20120101), D04H 1/4382 (20120101), D04H 1/728 (20120101), C08G 65/333 (20060101), C08G 69/40 (20060101), //A61L 15/44 (20060101), A61L 15/00 (20060101)	【課題】物質透過性に優れたゲル材料を提供すること。【解決手段】4本のポリエチレングリコール鎖を有する四分岐化合物に由来する構成単位を有するゲル繊維、およびそれから構成される不織布。【選択図】なし	出願審査中

出願情報	発明(考案)の名称	出願人	I P C	要約	ステータス
2015-104696 2015/05/22	ハイドロゲル繊維の製造方法及び当該製造方法により製造されたハイドロゲル繊維	504145320 国立大学法人 福井大学	D01F 4/00 (20060101), D01D 5/04 (20060101), D01D 5/34 (20060101), D01F 9/04 (20060101), D06M 11/00 (20060101), C08B 37/04 (20060101), //A61L 27/00 (20060101)	【課題】 コラーゲン等のハイドロゲル前駆体の高次構造を変性させることなく、安全性の高いハイドロゲル繊維を製造することが可能なハイドロゲル繊維の製造方法を提供する。【解決手段】 静電紡糸法による紡糸が可能な水溶性ポリマーを溶媒に溶解させた溶液を鞘材溶液とし、ハイドロゲル前駆体をフッ素系有機溶剤非含有の溶媒に溶解させた溶液を芯材溶液として、前記水溶性ポリマーが繊維化された鞘材繊維からなる鞘部と、前記芯材溶液からなる芯部と、を有する芯鞘構造の芯鞘繊維を静電紡糸法により生成する芯鞘繊維生成工程(P2)と、生成した芯鞘繊維の鞘材繊維を除去し、前記芯材溶液をゲル化させてハイドロゲルの繊維を製造する芯材ゲル化工程(P3)と、を含む。【選択図】 図4	ステータス 出願審査中
2016-011291 2016/01/25	熱収縮低減化ポリビニルアルコール系繊維	504145320 国立大学法人 福井大学	D06M 11/20 (20060101), D06M 11/77 (20060101)	【課題】 高温時熱収縮が低減化されたポリビニルアルコール (PVA) 系繊維及びその製造方法を提供する。【解決手段】 PVA系繊維に遷移金属化合物を含む溶液で処理することで、PVA系繊維に緻密な構造を有するスキン層が形成され、熱収縮が低減化されたPVA系繊維を製造することができる。遷移金属化合物を含む溶液で処理した後、さらにケイ素を含む溶液で処理することで、より効果的に熱収縮が低減化されたPVA系繊維を製造することができる。本発明の方法によれば、ハロゲンビニルポリマーを使用することなく、安価で環境にやさしい方法で熱収縮が低減化されたPVA系繊維を製造することができる。【選択図】 図1	出願審査中
2983531	開織系織物の製造方法とその装置	福井県	D03D 25/00 D03D 1/00 D03D 15/00 D03D 41/00 D03D 15/02	【課題】 予め開織処理されて厚みに対して十分な略均一な幅を有する帯状繊維束から製織した開織系織物と、この帯状繊維束から成る経糸及び緯糸が、互いに直交又は斜交した開織系織物の製造方法とその装置を提供すること。 【解決手段】 経糸方向に対して各々斜交可能な一対の把持手段1・2で経糸群を把持し、その間で綜統手段3を上下動させると共にこれら把持手段1・2の何れか一方を他方に対して直角方向へ平行移動させることによって、各帯状繊維束に振れを与えることなく経糸群を開口せしめるようにした。 【効果】 経糸と緯糸との交差部においても繊維束が十分に開織され、樹脂の含浸性に優れており、また、この交差部での繊維束の屈曲も少なくして屈曲部への応力集中が軽減されるので、繊維束の機械的特性を十分に生かすことができると共に、織物の表面平滑性も格段に向上させることができる。	